

Pioneer

AV 一体型 HDD ナビゲーション

AVIC-HRZ900

スタートブック

目次 4ページ

お使いになる前に

本機の基本操作

ナビゲーション

オーディオ

スマートループ

付録

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

■走行中はナビゲーションの操作をしない

走行中に運転者が操作するのは、絶対におやめください。

走行中制限される機能の操作は

安全な場所に車を止めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。
ルート探索の設定などの複雑な操作は、安全のため、走行中にはできないように設計されています。(操作しようとする、「走行中は操作できません」とメッセージが表示されます。)

操作はエンジンをかけたままで

エンジンを止めて本機を操作すると、バッテリー消耗の原因になります。本機の操作はエンジンをかけたままで行ってください。

■交通規則に従って走行する

ルート探索をすると、自動的にルート / 音声案内が設定されます。曜日、時刻規制などの交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。

なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

画面に表示される情報は実際と異なる場合があります。

ナビゲーションの画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。

安全上のご注意



警告

自動車の運転中に地点登録・地名検索などの操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。



注意

ナビゲーションによるルート案内時は、実際の交通規則に従って走行してください。

目次

| | |
|-----------------------------------|-----------|
| 本機をより楽しむために | 8 |
| ETC ユニット..... | 8 |
| VICS 用ビーコンユニット..... | 8 |
| iPod 用接続ケーブル..... | 8 |
| Bluetooth ユニット..... | 8 |
| 携帯電話用接続ケーブル..... | 8 |
| WILLCOM 製データ通信専用通信モジュール..... | 8 |
| 拡張ユニット..... | 9 |
| リアモニター..... | 9 |
| 専用バックカメラユニット..... | 9 |
| 汎用バックカメラユニット..... | 9 |
| RCA・バスインターコネクター..... | 9 |
| エクスターナルユニット..... | 9 |
| ご使用前に知っておいていただきたいこと | 10 |
| 安全走行のために..... | 10 |
| 地図データについて..... | 10 |
| バッテリー上がりを防ぐために..... | 10 |
| バッテリーを外すときのご注意..... | 10 |
| 画面が見えにくいときは..... | 11 |
| 低温時のハードディスクへの書き込みについて..... | 11 |
| 著作権..... | 11 |
| パソコンリンクのご案内..... | 11 |
| バージョンアップについて..... | 11 |
| お客様登録のお願い..... | 12 |
| お客様が保存されたデータについて..... | 12 |
| セキュリティロック機能について..... | 12 |
| アフターサービス..... | 12 |
| オートアンテナ車のご注意..... | 12 |
| その他..... | 13 |
| リセットについて..... | 13 |
| マイセットアップ | 14 |
| マイセットアップを行う..... | 14 |
| 設定項目一覧..... | 14 |
| スマートループの設定を行う..... | 17 |
| 設定項目一覧..... | 17 |
| 地上デジタル TV 放送を見るための準備 | 18 |
| B-CAS カードを入れる..... | 18 |
| チャンネルスキャンを行う..... | 19 |

| | |
|-------------------------------------|-----------|
| 本機の基本操作 | 20 |
| 各部の名称とおもな働き | 20 |
| ナビゲーション本体のボタン | 20 |
| タッチキー | 22 |
| リモコン／音声認識用マイク | 23 |
| ナビゲーションの電源について | 24 |
| リモコンの使いかた | 24 |
| リモコンの準備と電池の交換のしかた | 24 |
| リモコンを向ける方向 | 25 |
| ディスクの入れかた・取り出しかた | 26 |
| ディスクの入れかた | 26 |
| ディスクの取り出しかた | 26 |
| USB メモリーの接続のしかた・取り外しかた | 27 |
| USB メモリーの接続のしかた | 27 |
| USB メモリーの取り外しかた | 27 |
| 画面の操作 | 28 |
| ナビゲーション画面と AV ソース画面を切り換える | 28 |
| P side Map 画面（2画面）に切り換える | 28 |
| 画面を一時的に消す（ナビスタンバイ）..... | 29 |
| 画質を調整する | 29 |
| 画面モニターの角度を調整する | 30 |
| オーディオの音量を調整する | 31 |
| ナビゲーション本体のボタンで調整する | 31 |
| リモコンで調整する | 31 |
| ナビゲーションの音量を調整する | 31 |
| 音声操作のしかた | 32 |
| 地図の見かたと操作 | 34 |
| 現在地画面を表示させる | 34 |
| 現在地画面 | 34 |
| 昼間と夜間の色の違いについて | 34 |
| 地図の動かしかた | 35 |
| スクロール画面 | 36 |
| 地図の縮尺を変える | 37 |
| 広域・詳細タッチキーで操作する | 37 |
| ダイレクトスケールキーで操作する | 37 |
| 地図の向きを変える | 38 |
| ビューモードを切り換える | 38 |
| ターゲットマップを設定する | 39 |
| メニュー操作の基本 | 40 |
| お出かけメニュー | 40 |
| 情報・通信 / 設定メニュー | 41 |
| ショートカットメニュー | 43 |
| リスト操作 | 45 |
| 基本的なリストの操作 | 45 |

| | |
|--|-----------|
| 50音タブ付きリストの操作 | 45 |
| ポップアップメニューの操作 | 46 |
| サイドメニューの操作 | 46 |
| 自宅を登録しておこう | 47 |
| 自宅を登録する | 47 |
| 自宅へ帰る | 48 |
| 目的地へ行こう | 49 |
| ルート案内中の画面 | 51 |
| サイレントガイドについて | 52 |
| オートリルートについて | 52 |
| ルートアドバイザーについて | 52 |
| ルート案内中の操作 | 53 |
| 次の案内地を確認する (リクエスト案内) | 53 |
| ルート上の渋滞情報を案内させる | 53 |
| ルートを消去する | 54 |
| 周辺の施設を探してみよう | 55 |
| 周辺検索で探す | 55 |
| お好み周辺検索で探す | 57 |
| 表示されたマークを消すとき | 58 |
| 音楽や映像を楽しむ | 59 |
| AVソースを切り換える | 59 |
| AVソースメニューから選んで切り換える | 59 |
| AVソースについて | 59 |
| リモコンで切り換える | 60 |
| AVソースをOFFにする | 60 |
| AVソースを操作する | 61 |
| 操作タッチキーで操作する | 61 |
| 本体のボタンで操作する | 61 |
| リモコンで操作する | 62 |
| オーディオの音や機能を設定する | 62 |
| スマートループを利用する | 63 |
| スマートループ渋滞情報を利用するために必要なこと | 63 |
| 通信機器を準備する | 63 |
| 通信接続設定をする | 64 |
| お客様登録およびスマートループ利用登録をする (本機の通信機能を使用する場合) .. | 65 |
| お客様登録およびスマートループ利用登録をする (インターネットを利用する場合) .. | 66 |
| スマートループ設定をする | 67 |
| プローブ情報送信設定をする | 67 |
| USBメモリーへの保存設定 | 68 |
| 渋滞情報取得開始設定 | 68 |
| 渋滞情報連続取得設定 | 69 |
| スマートループ渋滞情報の取得のしかた | 69 |
| スマートループ渋滞情報取得画面について | 70 |
| プローブ情報の保存のしかた | 70 |

| | |
|---|-----------|
| ナビスタジオの機能 | 71 |
| ナビスタジオを使う | 71 |
| 『お客様登録／確認／変更』でできること..... | 71 |
| 『楽曲 (WMA/MP3) データ』でできること..... | 71 |
| 『登録した場所データ』でできること..... | 72 |
| 『画像データ』でできること..... | 72 |
| 『カラーカスタマイズ』でできること..... | 72 |
| 取り扱い上のご注意 | 73 |
| 液晶画面の正しい使いかた | 73 |
| 取り扱い上のご注意..... | 73 |
| 液晶画面について..... | 73 |
| LED バックライトについて..... | 73 |
| お手入れについて..... | 73 |
| ディスクの正しい使いかた | 74 |
| 取り扱い上のご注意..... | 74 |
| お手入れについて..... | 74 |
| 保管上のご注意..... | 74 |
| ディスク再生の環境について..... | 75 |
| B-CAS カードの正しい使いかた | 75 |
| B-CAS カードの取り扱いについて..... | 75 |
| 故障かな?と思ったら | 76 |
| 共通項目 | 76 |
| 電源が入らない、動作しない..... | 76 |
| リモコンで操作できない、操作に合った正しい動作をしない..... | 76 |
| エンジンスイッチを ON または ACC にすると、モーター音がある..... | 76 |
| 映像が出ない..... | 76 |
| 音が出ない..... | 77 |
| ナビのガイド音声やハンズフリーの音量を調整できない..... | 77 |
| 液晶画面が暗い..... | 77 |
| ナビゲーション | 77 |
| 自車位置を測位できない、自車位置がずれる..... | 77 |
| DVD | 78 |
| 再生できない..... | 78 |
| CD、ROM (WMA/MP3/AAC/DivX) | 78 |
| 再生できない..... | 78 |
| 地上デジタル TV | 78 |
| 受信できない / 「受信できません」または「スキャンを実行してください」または「サービスが登録されていません」というメッセージが表示される..... | 78 |
| ワンセグ放送しか受信できない / 「IC カードを正しく装着してください」または「この IC カードは使用できません ECO1」というメッセージが表示される..... | 78 |
| 保証書とアフターサービス | 79 |
| 仕様 | 80 |

本機をより楽しむために

本機には、下記のオプション類が組み合わせられます。



- 下記の型番は代表例です。車種や条件によっては組み合わせできない場合もあります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

ETC ユニット

別売の ETC ユニット「ND-ETC5」などを接続すると、有料道路の料金所をノンストップで通過できます。また、ETC カードに記録されている利用履歴を本機の画面で確認することができます。

VICS 用ビーコンユニット

別売の VICS 用ビーコンユニット「ND-B6」などを接続すると、渋滞を考慮したルート探索やビーコン情報の即時表示などが可能になります。

※スマートループ渋滞情報(→P69)を取得すれば、VICS 用ビーコンユニットを接続しなくても渋滞考慮ルート探索が可能です。

iPod 用接続ケーブル

別売の iPod 用接続ケーブル「CD-I021」を使用すると、本機に iPod を接続して連続再生することができます。

Bluetooth ユニット

別売の Bluetooth ユニット「ND-BT10」を接続すると、Bluetooth に対応した携帯電話や Bluetooth AUDIO 機器(以降、BT AUDIO 機器)をワイヤレスで接続し、本機の通信機能や携帯電話機能、BT AUDIO 機能を使うことができます。



- 本機に Bluetooth ユニット「ND-BT1」は接続できません。

携帯電話用接続ケーブル

別売の携帯電話接続ケーブルで携帯電話を接続すると、本機の通信機能や携帯電話機能を使うことができます。

- FOMA 用ケーブル (2m) : 「CD-H15」
- CDMA 1X WIN 用ケーブル (2m) : 「CD-H16」



- 本機に、PDC 用ケーブル「CD-H13」および CDMA 1X/cdmaOne 用ケーブル「CD-H14」は接続できません。

携帯電話接続情報については、以下のサイトから確認できます。

■ 携帯電話から

<http://pioneer.jp/carnavi-keitai/>



- ※機種によっては読み込みできない場合があります。
- ※QRコードの読み取りは、本機と接続予定の携帯電話で行ってください。

■ パソコンから

<http://pioneer.jp/car/keitai-check/>

WILLCOM 製 データ通信専用通信モジュール

WILLCOM 製データ通信専用通信モジュール「WS022IN」を接続すると、本機の通信機能が定額制サービスでご利用いただけます。



- 通信モジュールおよび料金プランは、パイオニアでは取り扱いをしておりません。株式会社ウィルコムのお取り扱いとなります。

拡張ユニット

別売の拡張ユニット「ND-UH40」を接続すると、WILLCOM製データ通信専用通信モジュールと携帯電話（または Bluetooth ユニット）と USB メモリーを同時に使うことができます。

リアモニター

別売の液晶 TV モニター「TVM-W シリーズ」を接続すると、走行中でも後席の同乗者は DVD ビデオや TV などを楽しむことができます。

専用バックカメラユニット

別売の専用バックカメラユニット「ND-BC30 II」を接続すると、駐車時に後方の映像を本機に表示させることができます。

また、「ND-BC30 II」には別売のフロントカメラユニット「ND-FC100 II」を接続することもできます。車両前方の映像を本機に表示させることができ、見通しの悪い交差点も安全です。



- 本機にバックカメラおよびフロントカメラを接続した場合は、カメラ設定が必要です。→『ナビゲーションブック』-「カメラを使う」

汎用バックカメラユニット

別売の汎用バックカメラユニット「ND-BC4」などを接続すると、駐車時に後方の映像を本機に表示させることができます。



- 本機にバックカメラを接続した場合は、カメラ設定が必要です。→『ナビゲーションブック』-「カメラを使う」

RCA・バスインターコネクター

別売の RCA・バスインターコネクター「CD-RB10」を使用すると、本機の AUX (IP-BUS 入力端子) に RCA 出力の外部機器を接続することができます。



- 本機に RCA 出力の外部機器を接続した場合は、AUX 設定が必要です。→『オーディオブック』-「外部機器の音声を聞く」

エクスターナルユニット

マルチ CD プレーヤー以外の IP-BUS 機器を最大 2 台まで接続することができます。基本的な操作は本機から行えます。



- 本機に、マルチ CD プレーヤー「CDX-P シリーズ」は接続できません。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

安全走行のために

- 走行中に運転者がナビゲーション操作をし画面に気を取られたり、操作に迷ったりするとおそれ重大な事故を招く恐れがあり大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。また、運転者がナビゲーションの操作を行う場合は、必ず車を安全な場所に停車してから行ってください。
- 運転中の音声は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 本製品には交通規制データが収録されておりますが、交通規制の変更等により、実際とは異なる場合があります。ナビゲーションによるルート案内や右左折などの音声案内時でも、必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。交通事故の原因や道路交通法違反となることがあります。
- 緊急を要する施設（病院、消防署、警察署など）の検索やルート案内については、本製品への依存を避け各該当施設へ直接ご確認ください。
- 本機は、パーキングブレーキの ON/OFF を検知しており、走行中にテレビやビデオなどの映像を見ることができないようになっています。また、走行中はナビゲーションやオーディオの一部のメニュー操作や地図の連続スクロールはできません。安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

地図データについて

本機のご使用にあたっては、地図ディスクは必要ありません。地図データはすべて本機内蔵のハードディスクに保存されています。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっているときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。



- 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

バッテリーを外するときの注意

点検等でバッテリーを外すと、セキュリティロックが有効になっている場合は、起動時にパスワードの入力が必要になります。また、次の内容が工場出荷時に戻ります。必要な情報は事前に控えておいてください。

- 自車方位
 - 画質調整
 - 画面角度調整
 - オーディオ設定／システム設定の設定内容
 - ラジオ、交通情報のプリセット内容
 - 各 AV ソースの再生モード
- など

画面が見えにくいときは

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度を調整（→P30）し、調整した角度に合わせて黒の濃さを調整（→P29）してください。液晶画面自体の明るさや色温度も変更できますので、お好みに応じて調整してください。→『オーディオブック』

低温時のハードディスクへの書き込みについて

低温時は、ハードディスクへの書き込み動作を伴う地点の登録（登録地）、ミュージックサーバーへの録音などができない場合があります。車内温度が上昇するまで、しばらくお待ちください。

著作権

本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。

パソコンリンクのご案内

パソコンリンクソフト「ナビスタジオ（楽ナビ用）Ver.2.1」（以降ナビスタジオ）をパソコンにインストールしてご利用いただくことで、USB メモリー経由で登録地点（登録した場所）の追加・編集、オープニング画像の転送、ミュージックサーバーのジャケット画像や楽曲（WMA/MP3）データの転送、カラーカスタマイズ（イルミネーション、メニューデザイン）の設定ができます。また機能の詳細などについては、弊社ホームページ（<http://carrozzeria.jp>）でご案内しております。

バージョンアップについて

- 本機は、バージョンアップ2回分（2010/2011年度）付きとなります。本機のバージョンアップは、DVD-ROMにより行うことが可能です。

※バージョンアップ受付開始時期は、2010年度冬、2011年度冬をそれぞれ予定しております。

※バージョンアップ受付開始やお申し込み方法などのご連絡は、お客様登録時に記入されたEメールアドレス宛にメールを配信、および、弊社ホームページ上でご案内予定です。お早めにお客様登録していただくことをお奨めします。

※バージョンアップ受付期間を過ぎますと、バージョンアップを受けられませんのでご注意ください。

※バージョンアップDVD-ROM 送付先の情報は、バージョンアップ申込みの際にご記入いただけます。

※2012年度以降のバージョンアップにつきましては有償となります。

- ソフトウェアバージョンアップ中は、フラップの開閉以外の機能はお使いになれません。
- 地図データ更新中は、AM、FM、地上デジタルTVの基本機能およびバックカメラ、フロントカメラの映像表示のみが使用可能です。ナビゲーション、ミュージックサーバー、各種ディスクの再生等はできません。AV操作は本体またはリモコンで行い、AV情報表示は簡易表示となります。

お客様登録のお願い

ご登録いただいた商品の安全に関する重要なお知らせをご案内する場合がありますので、下記のいずれかの方法にてご登録手続きをお願いいたします。なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。

本機の通信機能利用によるご登録

本機の通信機能を利用して、本機から登録を行います。→「お客様登録およびスマートループ利用登録をする(本機の通信機能を使用する場合)」(P65)

インターネット利用によるご登録

インターネットに接続して、パソコンから登録を行います。→「お客様登録およびスマートループ利用登録をする(インターネットを利用する場合)」(P66)

登録ハガキによるご登録

インターネット接続環境をご利用いただけない場合は、同梱の登録ハガキに必要な事項を記入のうえ、同封の目隠しシールをお貼りいただき、ポストに投函してください。



- スマートループをご利用になるには、別途本機の通信機能利用によるお客様登録が必要になります。

お客様が保存されたデータについて

- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償はいたしかねます。
- 本機の地図ディスク更新および修理において、お客様の登録されたデータの保証はいたしかねます。あらかじめご了承ください。
- お客様がナビ本体のミュージックサーバーに録音された音楽情報については、バックアップする機能はありませんので、ご了承ください。

セキュリティロック機能について

本機は、パスワードによるセキュリティロック機能(盗難抑止機能)を内蔵しています。出荷時は、セキュリティロック機能は動作しておりません。必要に応じてセキュリティロック機能を設定してください。設定には、通信機器の接続と設定が必要です。→『ナビゲーションブック』-「通信」-「オンライン」-「セキュリティロック設定を行う」

アフターサービス

- 弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは「お客様登録カード」をご返送またはインターネットからご登録いただいたお客様にいたしますので、必ず登録をさせていただきますようお願いいたします。
- 本製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店を窓口として実施しておりますが、移動先や引越等により、お買い上げ販売店に修理が依頼できない場合には、修理受付センター(沖縄県のみ、沖縄サービスステーション)へご相談ください。

オートアンテナ車のご注意

本機をオートアンテナ車(モーターアンテナ車)に取り付けた場合、エンジンスイッチのON(本機の電源ON)に連動してアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。立体駐車場などでアンテナを下げるには、**お帰**リタッチキーを2秒以上押してください。

その他

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画すると、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、著作権保護の機能により、ビデオデッキを介してモニター出力した場合には、再生目的でも画質が劣化することがあります。これらは機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴するときは、本機とリアモニターを直接接続して楽しみください。
- 弊社は、本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。
- 説明書で使っている画面例は、実際の画面と異なる場合があります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

リセットについて

次のようなときは、リセットボタン（→P20）を押して本機をリセットしてください。

- 本機を車に取り付けた直後
- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

また、本機をリセットすると、次の内容が工場出荷時に戻ります。必要な情報は事前に控えておいてください。

- オーディオ設定／システム設定の設定内容
- 画質調整
- 画面角度調整
- ラジオ、交通情報のプリセット内容
- 各 AV ソースの再生モードやラスト再生ポジションなど



- 本機は、リセットボタンを押すと画面の角度が自動的に傾いていない状態に戻ります。リセットボタンを押すときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子様などにはご注意ください。



- 本機のリセットボタンを押しても、セキュリティロックや登録地点、ルート、センサーの学習内容、ミュージックサーバーなどの内容は消去されません。
- リセットボタンを押したあとやバッテリーを外したあとなどに、いったん電源が OFF/ON することがありますが、故障ではありません。

マイセットアップ

本機の基本的な設定を、画面の指示と音声ガイダンスに従って設定することができます。ご購入後、本機をはじめてお使いになるときは、自動的にマイセットアップが表示されます。マイセットアップで設定した内容は、あとから変更することができます。詳しくは、『ナビゲーションブック』-「設定操作」-「機能設定」をご覧ください。

お使いになる前に

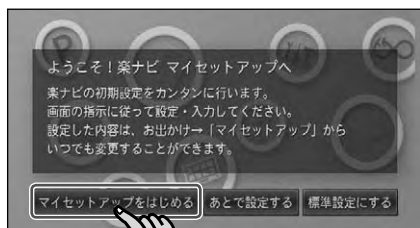
マイセットアップを行う

設定項目一覧

1 マイセットアップをはじめるにタッチする



- マイセットアップ画面が表示されていないときは、お出かけメニュー（→P40）の**マイセットアップ**にタッチして始めることもできます。その場合は、⑦⑧の地図の設定はできません。



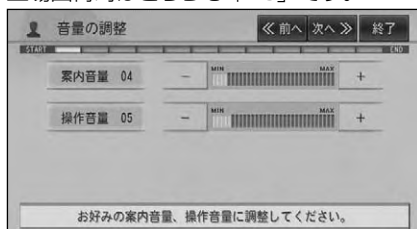
以降は、画面の指示と音声ガイダンスに従って設定をしてください。



- 標準設定にする**にタッチすると、工場出荷時の設定でお使いいただけます。
- あとで設定する**にタッチすると、次回起動時もマイセットアップが表示されます。
- 次へ>>>**にタッチすると次の設定画面へ、**<<<前へ**にタッチすると1つ前の設定画面に戻ります。
- 終了**にタッチすると、その時点までの設定内容を保存して、マイセットアップ終了画面に移ります。
- マイセットアップ設定中は、画面上部に進捗状況を示すインジケーターが表示され、セットアップの進捗状況を確認することができます。

①音量の調整

ナビゲーションの案内音量とタッチキーなどの操作音の音量を調整します。工場出荷時はどちらも「23」です。



②イルミネーションカラーの設定

本機のイルミネーション（ハードキーの色など）を設定することができます。工場出荷時は「ホワイト」です。



③メニューデザインの設定

メニュー画面のデザインを設定することができます。

工場出荷時は以下の通りです。

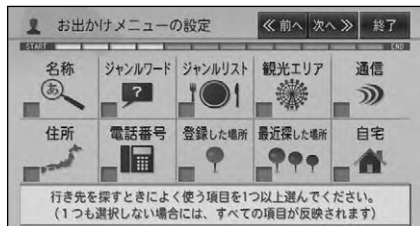
デザイン：「ライト」

カラー：「ホワイト」



④お出かけメニューの設定

お出かけメニュー (→ P40) に表示されるタッチキーを設定することができます。工場出荷時はすべて表示する状態です。



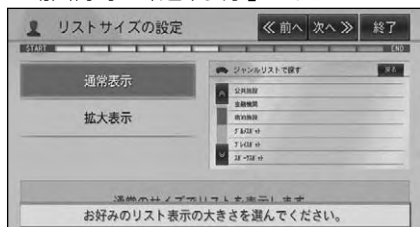
⑤ AV ソースメニューの設定

AV ソースメニュー (→ P59) に表示されるタッチキーを設定することができます。工場出荷時はすべて表示する状態です。



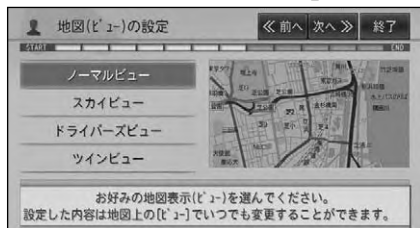
⑥ リストサイズの設定

リスト画面に表示されるリストの行の大きさを設定します。工場出荷時は「通常表示」です。



⑦ 地図(ビュー)の設定

地図の表示方法を設定することができます。工場出荷時は「ノーマルビュー」です。



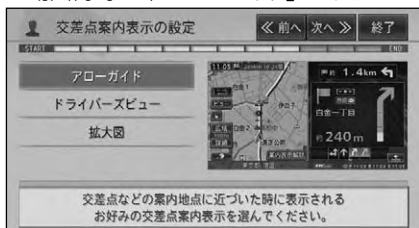
⑧ 地図(通常 / ターゲットマップ)の設定

地図上に強調して表示させたい内容を設定することができます。工場出荷時は「通常表示」です。



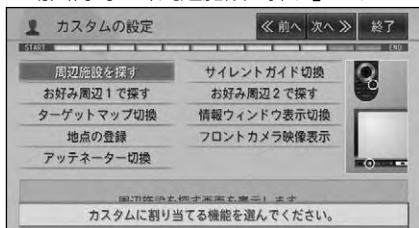
⑨ 交差点案内表示の設定

交差点などの案内地点に近づいたときに表示される案内の方法を設定することができます。工場出荷時は「アローガイド」です。



⑩ カスタムの設定

本体またはリモコンの◎を押したときに実行される機能(コマンド)を設定します。工場出荷時は「周辺施設を探す」です。



お使いになる前に

次ページへつづく

⑪ ルート探索基準 / 条件の設定

ルート探索の基準、条件を設定することができます。

工場出荷時は以下の通りです。

ルート探索基準：「推奨」

スマート IC 考慮ルート探索：「OFF」

有料道路使用条件：「標準」

フェリー航路使用条件：「標準」

⑫ 車両情報の設定

車両の排気量や大きさ、車種などを設定することで、燃費算出、駐車場の検索、有料道路の料金案内などに利用することができます。

工場出荷時は以下の通りです。

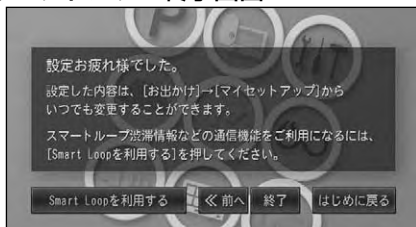
有料道路料金区分：「普通車」

排気量：「1700～2700cc未滿」

車種：「設定なし」

車両寸法：「設定なし」

マイセットアップ終了画面



- **Smart Loop を利用する** にタッチすると、スマートループの説明画面を表示します。(→P17)
- **終了** にタッチすると、マイセットアップを終了して現在画面に戻ります。
- **はじめに戻る** にタッチすると、マイセットアップ開始画面に戻ります。

スマートループの設定を行う

スマートループを利用するために必要な通信機器の設定やプローブ情報の送信設定、お客様登録などを行うことができます。

1 マイセットアップ終了画面でSmart Loopを利用するにタッチする

2 設定に進むにタッチする



以降は画面の指示と音声ガイダンスに従って設定をしてください。

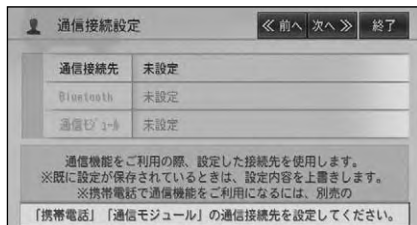
- **終了**にタッチすると、スマートループの設定を終了して現在地画面に戻ります。

設定項目一覧

- 各設定項目の設定内容については、「スマートループを利用する」(→P63)をご覧ください。

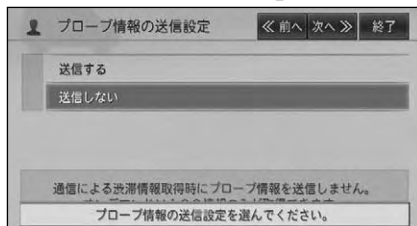
①通信接続設定

通信に使用する機器と接続先を設定します。Bluetooth 機器の登録も行うことができます。



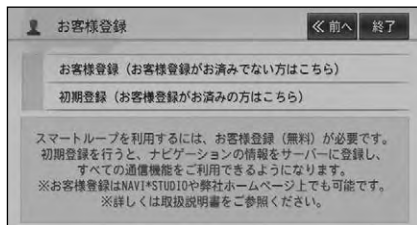
②プローブ情報の送信設定

プローブ情報を送信するかどうかを設定します。工場出荷時は「送信しない」です。



③お客様登録

お客様登録を行うことができます。



- お客様登録を行うと、ナビゲーション本体の初期登録も完了します。

地上デジタルTV放送を見るための準備

B-CASカードを入れる

地上デジタル放送では、B-CAS カードがないと放送を視聴できません。視聴中は、必ず付属のB-CAS カードを本機に挿入してください。

お使いになる前に



指のケガに注意

- 画面モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様などにはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

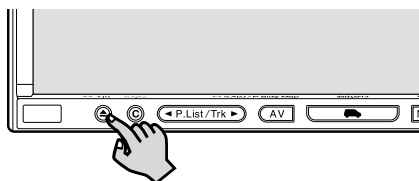


- 本機を使用していないときは、画面モニターを閉じた状態にしてください。
- 画面モニターの開閉を手動または工具を使って無理に行わないでください。画面モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- 画面モニターの開閉をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉してください。
- B-CAS カード以外のカードを入れないでください。また、B-CAS カードにはシールなどを貼らないでください。



- B-CAS カードの取り扱いについては、カードが貼ってある台紙をご覧ください。

1 ▲ を長く押す

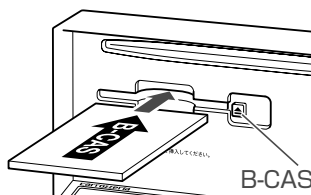


2 FULL OPEN にタッチする



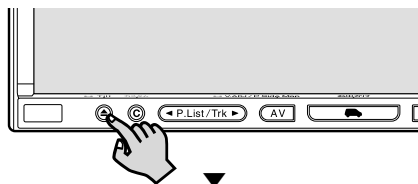
画面モニターが開きます。

3 B-CAS カードを挿し込む



B-CAS カード
取り出しボタン

4 ▲ を押す



画面モニターが閉じます。



- B-CAS カードを取り出すときは、手順3のB-CAS カード取り出しボタンを押します。

チャンネルスキャンを行う

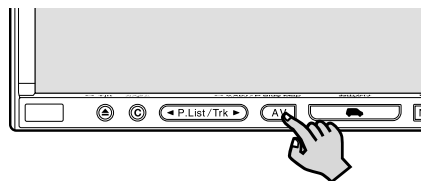
ご購入後、はじめて地上デジタルテレビ放送をご覧になるときは、チャンネルスキャンが必要です。



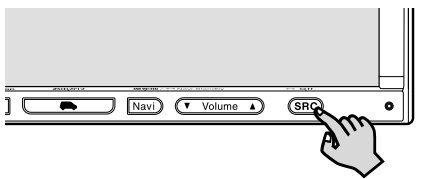
- チャンネルスキャンとは、受信可能なチャンネルを探して本機に登録する機能です。
- チャンネルスキャンは、地上デジタルテレビ放送の電波を受信しやすい場所で行ってください。
- 車のバッテリーを外したときや、地上デジタルTVの設定をクリア（視聴者設定クリア）したときにもチャンネルスキャンが必要です。

1 車のエンジンをかける

2 地図画面が表示されたら、**AV**を押す



3 **SRC**を押し、**地上デジタルTV**にタッチする

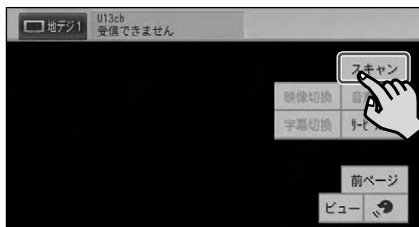


4 画面にタッチして**操作タッチキー**を表示し、**次ページ**にタッチする



お使いになる前に

5 **スキャン**に2秒以上タッチする



チャンネルスキャンが終了すると、テレビ画面が表示されます。



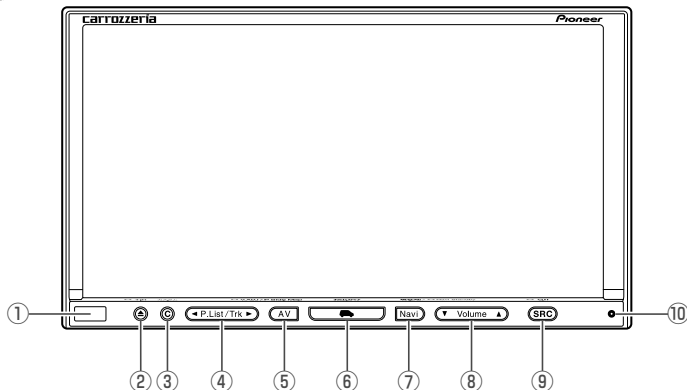
- 地図画面を表示するには、**Navi**を押します。
- 受信をやめるには、**SRC**を1秒以上押すか、手順3の画面で**OFF**にタッチします。

本機の基本操作

各部の名称とおもな働き

ナビゲーション本体のボタン

閉じている状態



① リモコン受光部 (→ P25)

リモコンからの信号を受信します。

② ボタン (→ P18, 26, 30)

ディスクの出し入れをします。長く押すと、画面モニターの角度調整やB-CASカードの出し入れをするための操作画面を表示します。



- 本機を使用していないときは、画面を閉じた状態にしてください。
- 画面の角度調整や開閉を手動で行ったりしないでください。画面に強い力が加わると故障することがあります。
- 画面の角度調整や開閉をするときに、物を挟まないように注意してください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉操作をしてください。

③ (カスタム) ボタン

(→ 『ナビゲーションブック』)

設定された機能(フロントカメラ映像への切り換えなど)を実行します。

長く押すとカスタムリストを表示します。

④ ボタン (→ P61)

放送局の選択や再生する曲の選択、曲の早送りや早戻しに使用します。

⑤ ボタン (→ P28, 29)

ナビゲーション画面から AV ソース画面に切り換えます。長く押すと画質やタッチパネルの調整画面を表示することもできます。AV ソース画面では、ナビゲーション画面との 2 画面表示に切り換えることもできます。

⑥ (お出かけ) ボタン (→ P40, 49)

目的地の検索方法を 10 種類の中から選択できるお出かけメニューを表示します。

⑦ ボタン (→ P28, 29, 34)

地図上に自分の車の位置を表示します。また、AV ソース画面からナビゲーション画面に切り換えます。長く押すと画面を一時的に消すことができます。

⑧ ボタン (→ P31)

オーディオの音量調整に使用します。

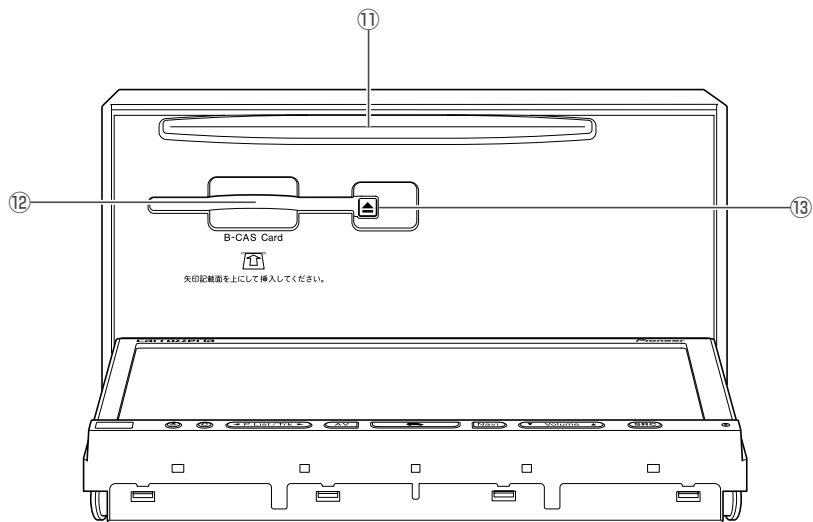
⑨ ボタン (→ P59, 60)

CD やミュージックサーバーなど、AV ソースを切り換えるための AV ソースメニューを表示します。長く押すと AV ソースを OFF にします。

⑩ ボタン (→ P13)

本機のマイコンをリセットするときに使用します。

開いている状態



① ディスク挿入口 (→ P26)

DVD や CD などを挿入します。

② B-CAS カードスロット (→ P18)

B-CAS カードを挿入します。

③ B-CAS カード取り出しボタン (→ P18)

B-CAS カードを取り出すときに使います。

タッチキー



① プローブ情報タッチキー (→ P68)

プローブ情報をUSBメモリーに保存します。長くタッチすると、「AUTO」と「MANUAL」を切り換えることができます。タッチキー内には、プローブ情報の蓄積状況が表示されます。



• USBメモリーが接続されていない場合は蓄積量の表示のみ行われます。

② ビュータッチキー (→ P38, 39)

ノーマルビューやスカイビュー、ツインビューなど、地図の表示方法を変更できます。

③ 方位マークタッチキー (→ P38)

赤い三角が北を示します。タッチすると、地図の向きを切り換えることができます。

④ 広域・詳細タッチキー (→ P37)

地図の縮尺を変更することができます。タッチすると、スケールバーとダイレクトスケールキーが表示されます。

⑤ (発話)タッチキー (→ P32)

タッチすると、音声操作を行うことができます。

⑥ お好み周辺 1,2 タッチキー (→ P57)

それぞれのタッチキーに登録された3つのジャンルの施設だけを検索することができます。

⑦ 周辺タッチキー (→ P55)

ガソリンスタンドや駅など探したい施設を、自転車周辺またはルート周辺から検索することができます。

⑧ 渋滞タッチキー (→ P53)

自転車周辺の規制情報や、ルート案内中のルート上の渋滞情報などを、画面表示と音声で確認することができます。また、長くタッチすると通信機能を使って渋滞情報を取得します。ただし、あらかじめ通信設定や各種設定、お客様登録などが必要です。

⑨ お帰りタッチキー (→ P47, 48)

全国どこからでも自宅までのルート探索を行うことができます。長くタッチするごとに、オートアンテナをON(上げる)/OFF(下げる)することができます。

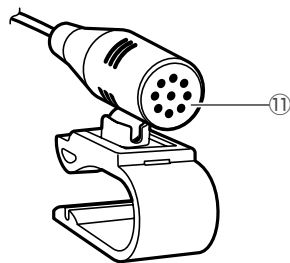
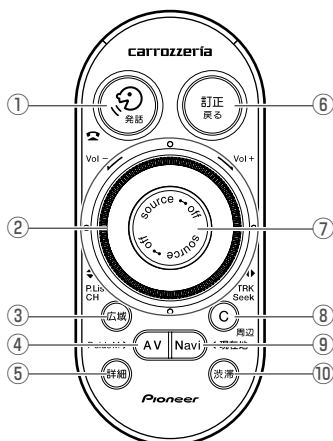


• オートアンテナ車以外では、常にONにしておいてください。OFFにするとラジオ/VICS/FM多重放送が受信できなくなる場合があります。

⑩ ショートカットメニュータッチキー (→ P43)

ルート探索や場所の登録など、ナビのよく使う機能をまとめたショートカットメニューを表示させることができます。

リモコン／音声認識用マイク



本機の基本操作

① **発話** ボタン (→ P32)

音声で操作したいときに押します。

② **ロータリーコマンダー&セレクター**
(→ P31, 62)

左右に回すとオーディオの音量が調整できます。

上下左右(▲▼◀▶)を押すと、ラジオなどの選局や楽曲の選曲、早送り／早戻しなどのオーディオ操作ができます。

③ **広域** ボタン (→ P37)

地図の縮尺を広域に変更することができます。

④ **AV** ボタン (→ P28, 29)

ナビゲーション画面から AV ソース画面に切り換えます。長く押すと画質やタッチパネルの調整画面を表示することもできます。

AV ソース画面では、ナビゲーション画面との 2 画面表示に切り換えることもできます。

⑤ **詳細** ボタン (→ P37)

地図の縮尺を詳細に変更することができます。

⑥ **訂正** ボタン (→ P32)

操作中に 1 つ前の状態に戻りたいときに使います。また、音声操作中は、直前の音声操作を取り消すことができます。

⑦ **source** ボタン (→ P60)

押すごとに AV ソースを切り換えます。長く押すと AV ソースを OFF にします。



接続されていない機器や設定されていない AV ソースへは切り換わりません。

⑧ **C** (カスタム) ボタン

(→ 『ナビゲーションブック』)

設定された機能(フロントカメラ映像への切り換えなど)を実行します。長く押すとカスタムリストを表示します。

⑨ **Navi** ボタン (→ P29, 34)

地図上に自分の車の位置を表示します。また、AV ソース画面からナビゲーション画面に切り換えます。長く押すと画面を一時的に消すことができます。

⑩ **洗滌** ボタン (→ P53, 69)

自車周辺の規制情報や、ルート案内中のルート上の渋滞情報などを、画面表示と音声で確認することができます。また、長くタッチすると通信機能を使って渋滞情報を取得します。ただし、あらかじめ通信設定や各種設定、お客様登録などが必要です。

⑪ **音声認識用マイク** (→ P32)

音声操作やハンズフリー通話をするときは、このマイクに向かって話します。

ナビゲーションの電源について

本機の電源は、車のエンジンスイッチを ACC または ON にすると自動的に入り、エンジンスイッチを OFF にすると電源が切れます。ナビゲーションの電源スイッチはありません。



指のケガに注意

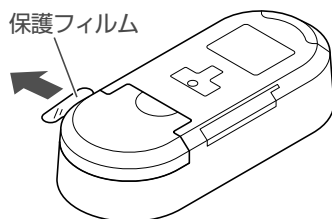
- 本機は、エンジンスイッチを OFF (本機の電源を OFF) にすると画面モニターが自動的に傾いていない状態に戻ります。エンジンを切るときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子様などにはご注意ください。

リモコンの使いかた

リモコンの準備と電池の交換のしかた

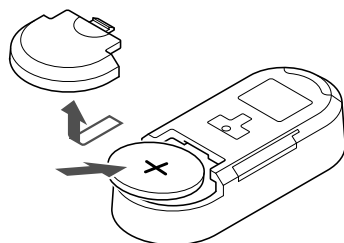
はじめて使用するとき

電池ホルダーから出ている保護フィルムを引き抜いてください。電池はあらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただくことができます。



電池を交換するとき

裏フタを外して古い電池を取り外し、市販のリチウム電池 (CR2032) の (+) 側を上にしてセットします。



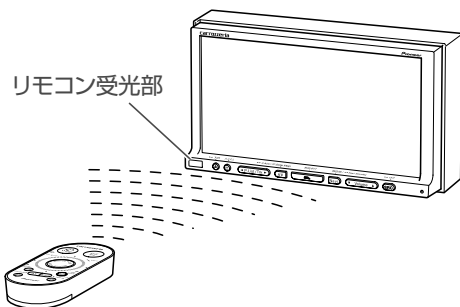
- ❗ リモコンを長期間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れ換えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。



- リチウム電池は充電できません。
- リモコンからの信号が受け付けられる範囲が狭くなってきたり、リモコン操作を行った際の反応が鈍くなったりしたときは、新しい電池と交換してください。

リモコンを向ける方向

リモコンの先端（送信部）を受光部に向けて操作します。



- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障することがあります。リモコンを使用しないときは、グローブボックスなど直射日光の当たらないところに保管してください。



- リモコンを固定してお使いになるときは、リモコン受光部へ信号が届く位置に設置してください。
- 受光部に直射日光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。このような場合は、日光をさえぎってからリモコンを操作してください。

ディスクの入れかた・取り出しかた



指のケガに
注意

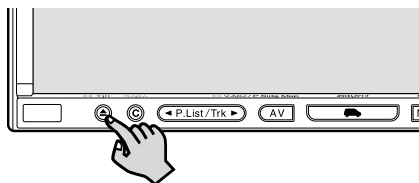
・画面モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様などにはご注意ください。ケガの原因となることがあります。



- ・本機を使用していないときは、画面モニターを閉じた状態にしてください。
- ・画面モニターの開閉を手動または工具を使って無理に行わないでください。画面モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- ・画面モニターの開閉をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉してください。
- ・8cm ディスクには対応しておりません。また、アダプターを装着した8cm ディスクも絶対に使用しないでください。

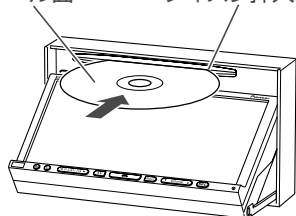
ディスクの入れかた

1 ▲を押す



2 ディスク挿入口にディスクを差し込む

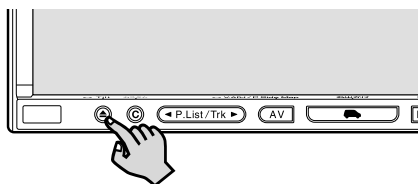
ラベル面 ディスク挿入口



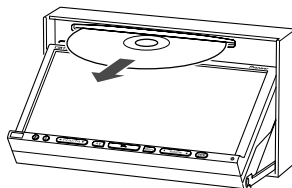
▼
ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、画面モニターが閉じます。

ディスクの取り出しかた

1 ▲を押す



▼
画面モニターが開き、ディスクが自動的に押し出されます。



2 ディスクを取り出し、▲を押す

▼
画面モニターが閉じます。

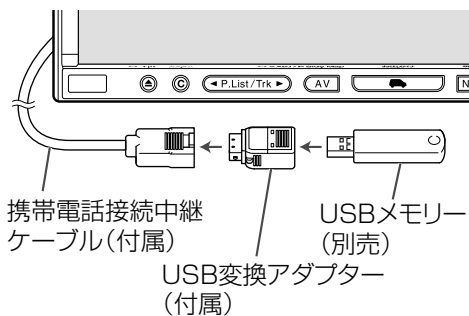
USBメモリーの接続のしかた・取り外しかた



- 本機は、市販のUSBメモリーが使用可能です。ただし、使用するUSBメモリーによっては、本機が正しく認識できない場合や、読み込み、保存、フォーマットなどの操作・動作ができない場合があります。
- USBメモリーのライトプロテクト機能やセキュリティ機能は解除してから接続してください。
- 本機はソフトウェアによるライトプロテクトや、ファイル圧縮などの機能には対応していません。そのようなデータも上書き消去される可能性があります。

USBメモリーの接続のしかた

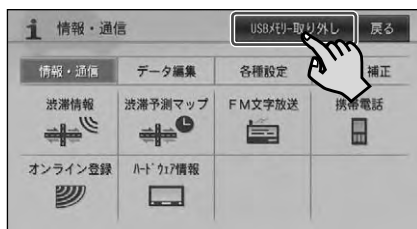
1 携帯電話接続中継ケーブルにUSB変換アダプターを接続し、USBメモリーを差し込む



USBメモリーの取り外しかた

1 を押し、**情報・通信** / **設定** にタッチする

2 **USBメモリー取り外し** にタッチする



本機の基本操作

USBメモリーを取り外せる状態になります。

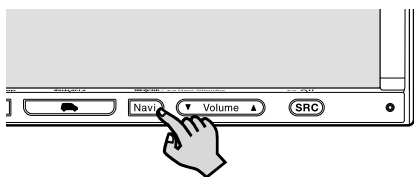
3 **USBメモリー** を取り外す

画面の操作

ナビゲーション画面と AV ソース画面を切り換える

AV ソースの音声はそのまま、画面だけナビゲーション画面と AV ソース画面を切り換えることができます。

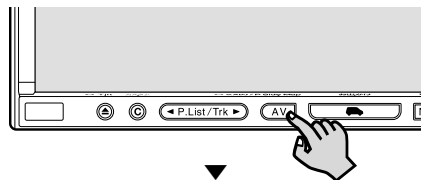
1 AV ソース画面表示中に **Navi** を押す



ナビゲーション画面



2 ナビゲーション画面表示中に **AV** を押す



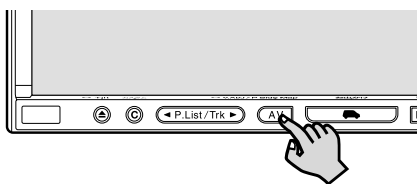
AV ソース画面



P side Map 画面 (2画面) に切り換える

画面を2分割して、左側に AV ソース画面、右側にナビゲーション画面 (走行画面) を表示する画面です。

1 AV ソース画面表示中に **AV** を押す

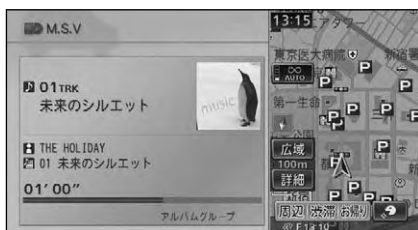


押すごとに、以下のように切り換わります。

AV ソース画面



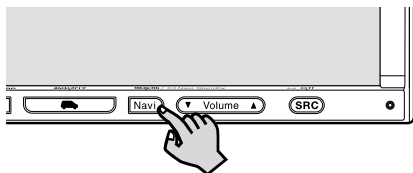
P side Map 画面



画面を一時的に消す (ナビスタンバイ)

夜間、画面がまぶしい場合など、一時的に画面を消すことができます。

1 **Navi** を長く押す



画面が一時的に消えます。

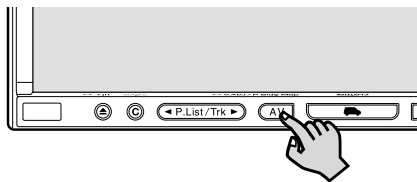


- ナビスタンバイ中に画面にタッチすると、ナビスタンバイする前の元の画面に戻ります。**Navi**を押すと現在地画面に戻ります。
- ナビスタンバイ中は、ナビゲーションの音声案内も出力されません。

画質を調整する

画面を見る角度などに応じて、お好みで画質を調整することができます。

1 **AV** を長く押す



2 調整したい項目にタッチする



→ 詳しくは、『オーディオブック』-「画面を設定する」-「画質を調整する」をご覧ください。

画面モニターの角度を調整する

画面モニターの角度を調整して見やすくしたり、操作しやすくすることができます。



- 画面モニターの角度を調整をするときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様などにはご注意ください。ケガの原因となることがあります。



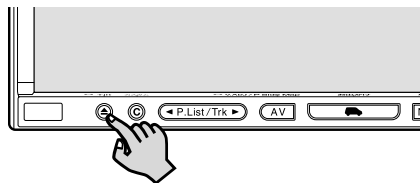
- 本機を使用していないときは、画面モニターを閉じた状態にしてください。
- 画面モニターの角度調整を手動または工具を使って無理に行わないでください。画面モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- 画面モニターの角度調整をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから調整してください。

3 戻るにタッチする

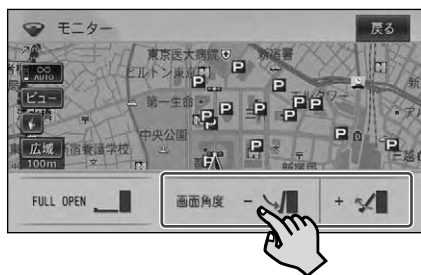


- 角度調整した画面モニターの角度は記憶され、次に本機の電源を入れたときは、自動的に調整した角度になります。

1 ▲を長く押す



2 田または田にタッチする

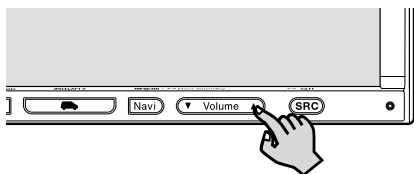


タッチするごとに、画面の角度が変わります。

オーディオの音量を調整する

ナビゲーション
本体のボタンで調整する

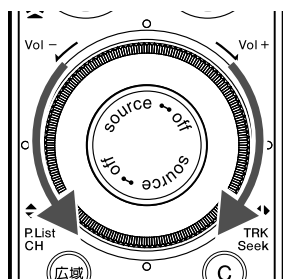
1 **▼ Volume ▲** を押す



| | |
|---|-------------|
| ▲ | 音量が大きくなります。 |
| ▼ | 音量が小さくなります。 |

リモコンで調整する

1 **ロータリーコマンドー&セクターを左右に回す**

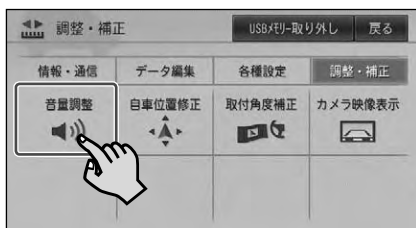


| | |
|------|-------------|
| 右に回す | 音量が大きくなります。 |
| 左に回す | 音量が小さくなります。 |

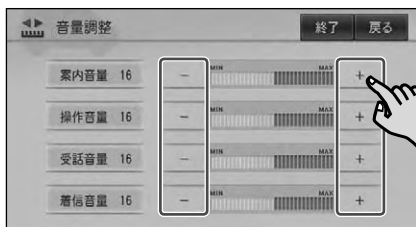
ナビゲーションの音量を調整する

1 **🚗** を押して **情報・通信** / **設定** にタッチする

2 **調整・補正 (タブ) — 音量調整** の順にタッチする



3 **調整したい項目の [] または []** にタッチする



- ナビゲーションの音量調整は、マイセットアップ (→ P14) でも行うことができます。
- 音量調整画面では、ハンズフリー通話の受話音量・着信音量も調整することができます。

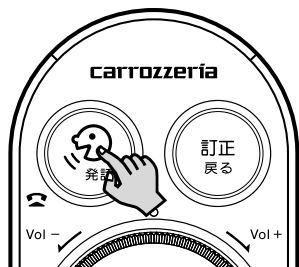
音声操作のしかた

本機は、音声で操作することができます。ここでは例として周辺のコンビニを音声で検索する方法を説明します。その他の操作や発話できる音声認識語など、詳しくは『ナビゲーションブック』-「音声操作」をご覧ください。

- 発話を正しく認識させるため、以下の点にご注意ください。自動車の窓は閉めておく／エアコンの風量を下げる／はっきりと明瞭に発話する／音声認識語を正しく発話する／音声案内中は発話しない。

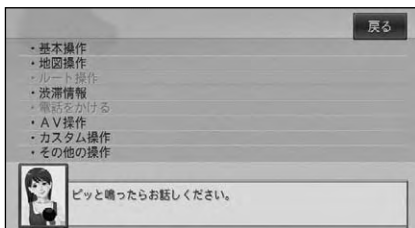
本機の基本操作

1 発話アイコンにタッチするか発話アイコンを押す

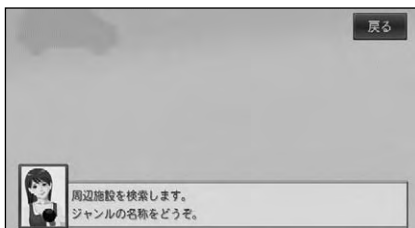


“ピッと鳴ったらお話してください”と音声案内が流れます。

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“周辺”と発話する



3 “ピッ”と音が鳴ったら“コンビニ”と発話する



周辺のコンビニが表示されます。

- 音声認識キャラクターがマイクを差し出してから発話してください。



発話できます。 発話しても認識しません。

- 発話しても認識されなかったり、言い間違えたときは、(ESC)を押すか“ちがう”と発話すると1つ前の画面に戻り、もう一度発話できる状態になります。また、操作を中止したいときは“ちゅうしする”と発話すると音声操作を中止します。

地図の見かたと操作

現在地画面を表示させる

動作中の本機の画面表示にかかわらず、**(Navi)**を押すと、現在地画面を表示することができます。

現在地画面

現在の時刻

方位表示

赤い三角が北方向を示します。

スケール表示

下の「」がスケールの距離を示します。(2D表示のみ)

情報ウィンドウ表示

情報ウィンドウ表示では、以下の表示を選んで表示することができます。

- ・エコステータス
- ・市区町村名
- ・走行道路名
- ・緯度経度
- ・AV情報

VICSレベル3
情報提供時刻表示

自転車マーク
車の位置と進行方向を表します。

軌跡表示



昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなる場合があります。そこで、本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。昼画面と夜画面の切り換えは時刻に連動しますが、常に昼画面または夜画面を表示させておくこともできます。また、昼画面・夜画面に関係なく車のスモール灯のON/OFFに連動して画面の明るさも自動的に調整されます。

昼画面



夜画面



本書では、昼画面を例に説明しています。このため、夜画面が表示されている場合、本書の説明と画面の色が異なる場合があります。

地図の動かし方

地図を動かすには、地図上の見たい場所にタッチするか、見たい場所の方向にタッチして地図をスクロールします。

1 地図上の見たい場所にタッチする



十字カーソルと**微調整**が表示され、タッチした場所が中心となるように地図が動きます。



- **微調整**は、ノーマルビューの場合のみ表示されます。
- タッチし続けると、その方面にスクロールします。また、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。

2 微調整にタッチする



3 表示を微調整する

矢印にタッチすることにより、地図が少しずつ動きます。また、画面の任意の位置をタッチしても地図が動きます。



- もう一度**微調整**にタッチすると、8方向の矢印が消えます。
- 画面にタッチしたまま指を動かし、スクロールすることもできます。
- 走行中は微調整の操作はできません。
- 走行中にスクロール操作をすると、タッチしたところまでスクロールして停止します。
- **Navi**を押すと、現在地周辺の地図に戻ります。

スクロール画面

スクロール中

スクロール方面表示

地図のスケールを、10m～1kmスケールにしている場合に表示されます。



スクロール停止

現在地から十字カーソル
位置までの直線距離

現在地の方向

十字カーソル位置と現在地
を結んだ線。

十字カーソル
画面の中心に表示
されます。



情報ウィンドウ表示



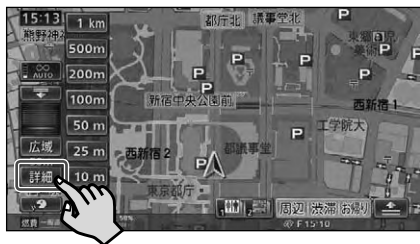
- 情報ウィンドウ表示には、機能設定で設定した情報ウィンドウ表示の情報が表示されます。「エコステータス」「OFF」を設定した場合は、何も表示されません。詳しくは『ナビゲーションブック』-「設定操作」-「機能設定」をご覧ください。

地図の縮尺を変える

10m～500kmの範囲で地図のスケールを変更することができます。

広域・詳細タッチキー
で操作する


1 広域または詳細にタッチする



| | |
|-----------|---------------|
| 広域 | 地図をより広く見たいとき |
| 詳細 | 地図をより詳しく見たいとき |

スケールバーとダイレクトスケールキーが表示され、現在のスケールがわかります。**広域**または**詳細**にタッチするごとに、スケールが変わります。



-  にタッチするとスケールバーとダイレクトスケールキーを消すことができます。
- **広域**または**詳細**にタッチし続けると、スケールは段階的に変わります(フリーズーム)。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。

ダイレクトスケールキー
で操作する

1 広域または詳細にタッチする





2 表示したいダイレクトスケールキーにタッチする



選んだスケールで表示されます。

地図の向きを変える

ノーマルビューでの地図表示の向きを変更することができます。地図表示の向きは、以下の2種類あります。

| | |
|---|---|
| ヘディングアップ アップ  | 車の進行方向が常に上になるように地図が自動的に回転します。工場出荷時はヘディングアップに設定されています。 |
| ノースアップ  | 北が常に上になるように表示されます。 |

1 方位マークタッチキーにタッチする

方位マークタッチキーにタッチするたびに、ヘディングアップとノースアップが切り換わります。

ヘディングアップ



ノースアップ



ビューモードを切り換える

地図の表示方法を、お好みに合わせて変更することができます。

ビューモードは、5種類あります。

| | |
|---------------------|---|
| ノーマルビュー (2D表示) | 通常の地図（平面の地図）で表示されます。 |
| スカイビュー (3D表示) | 上空から見ているような地図が表示されます。 |
| ドライバーズビュー (3D表示) | ドライバーの目線から見たような地図が表示されます。 |
| ツインビュー (2画面表示) | 画面を左右に2分割して地図が表示されます。 |
| ハイウェイモード | 有料道路走行時の専用画面で、走行に役立つ情報が表示されます。有料道路走行時以外は選ぶことができません。 |

→各表示方法について、詳しくは『ナビゲーションブック』-「基本操作」-「地図の操作」をご覧ください。

1 ビューにタッチする



2 表示方法を選んでタッチする



選んだビューモードで表示されます。

ターゲットマップを設定する

地図に表示される情報のうち、特定の情報を強調して表示することができます。各地図表示モードでお好みに応じて設定できます。

ターゲットマップは、4種類あります。

| | |
|-------------|------------------------------|
| 文字拡大 | 文字の情報と自車マークを拡大表示します。 |
| 道路重視 | 道路に関する情報を強調します。 |
| 住所重視 | 住所に関する情報を強調します。 |
| 施設重視 | 施設情報（施設名、マークなど）に関する情報を強調します。 |

→各モードについて、詳しくは『ナビゲーションブック』-「基本操作」-「地図の操作」をご覧ください。

1 ビューにタッチする



2 お好みの設定にタッチする



▼
選んだ設定で表示されます。



- **通常表示**にタッチすると、ターゲットマップを解除し、通常の地図表示にします。

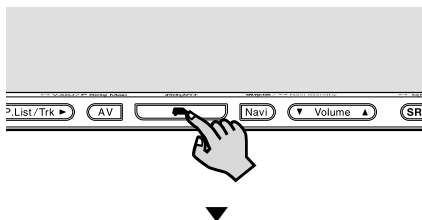
メニュー操作の基本

ナビゲーションでよく使う3つのメニュー（お出かけメニュー、情報・通信 / 設定メニュー、ショートカットメニュー）について説明します。

お出かけメニュー

行き先を探してルートを探したり、場所を探して詳細情報の表示や登録などができます。

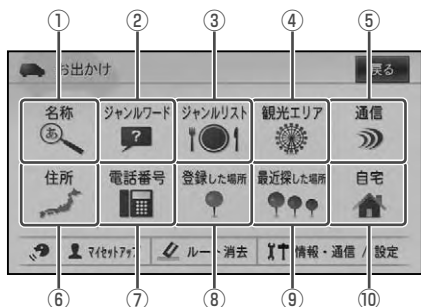
1 を押す



お出かけメニューが表示されます。



マイセットアップ (→P14) またはメニューカスタマイズ (→『ナビゲーションブック』) でお出かけメニューの設定を行った場合は、設定時に選んだタッチキーのみが表示されます。**すべて**にタッチするとすべてのタッチキーを、**よく使う**にタッチすると設定したタッチキーのみを表示します。



① 名称

行き先の名称をひらがなで入力して検索します。ジャンルやエリアを指定して検索することもできます。

例：とうきょうでいすにーらんど

② ジャンルワード

行き先のジャンルに関連するキーワード（ひらがな）を入力して検索します。

例：かーようひん

③ ジャンルリスト

行き先のジャンルから検索します。

例：交通機関、プレイスポット

④ 観光エリア

目的別に分類された観光エリアのリストから検索します。

例：伊豆・箱根・富士

⑤ 通信（通信可能な状態にある場合）

専用サーバーの情報を利用して、駐車場の満空情報や、ガソリンスタンドの価格情報を取得します。

⑥ 住所

行き先の住所を入力して検索します。

例：東京都港区赤坂1-X-X

⑦ 電話番号

行き先の電話番号を入力して検索します。

例：031234XX00



緯度経度にタッチすると、行き先の緯度経度を入力して検索することができます。

⑧ 登録した場所（登録されている場合）

登録した場所から検索します。日付順や自車位置に近い順、よみ順などで登録地を検索することができます。

⑨ 最近探した場所（履歴がある場合）

今までに検索した場所の履歴から検索します。日付順や自車位置に近い順などで検索することができます。

⑩ 自宅（登録されている場合）

自宅までルート探索します。



自宅が登録されていない場合は、現在地またはスクロール地点を自宅として登録するかどうかのメッセージが表示されます。

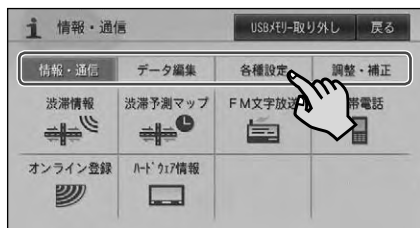
情報・通信 / 設定メニュー

ドライブに役立つ渋滞情報や通信機能を使った各種情報を利用したり、ルートなどの編集やお好みに応じた設定を行うことができます。

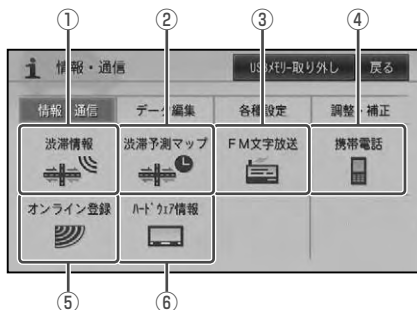
1 お出かけメニューの「情報・通信 / 設定」にタッチする



2 メニューのタブにタッチする

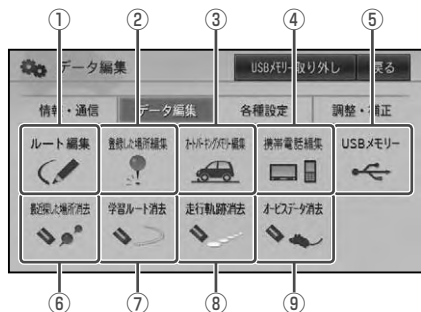


情報・通信タブ



- ① 渋滞情報
文字や図形の VICS 情報を見ることが出来ます。また、通信を利用した渋滞情報(オンデマンド VICS / スマートループ)を取得することもできます。
- ② 渋滞予測マップ
VICS 統計データとプローブ統計データより、選択した日時で予測される渋滞の情報を見ることが出来ます。
- ③ FM 文字放送
FM 放送局の文字情報(「見えるラジオ」など)を受信して、交通情報やニュースなどの情報を見ることが出来ます。
- ④ 携帯電話
携帯電話の接続や通信接続設定(→『ナビゲーションブック』-「設定操作」-「通信接続設定」)を行うと、本機の携帯電話機能を使用することができます。
- ⑤ オンライン登録
専用サーバーに接続し、お客様登録やセキュリティの設定などが行えます。
- ⑥ ハードウェア情報
走行中の状態や各機器の接続状態など、本機のハードウェアに関する情報を見ることが出来ます。

データ編集タブ



① ルート編集

案内中のルート編集することができます。

② 登録した場所編集

登録した場所を編集することができます。

③ オートパーキングメモリー編集

オートパーキングメモリーに登録された地点を編集することができます。

④ 携帯電話編集

本機に保存された携帯電話のメモリダイヤルや発着信履歴を消去することができます。

⑤ USBメモリー

登録地の保存や読み込み、オープニング画像やカラーカスタマイズの読み込み、USBメモリーのフォーマットを行うことができます。

⑥ 最近探した場所消去

探した場所の履歴を消去することができます。

⑦ 学習ルート消去

本機が学習したルートを消去することができます。

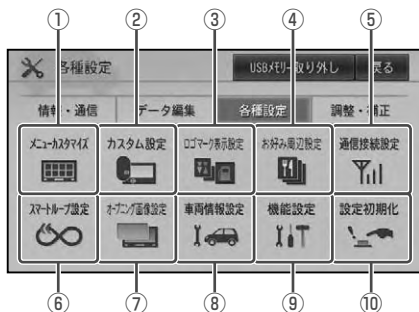
⑧ 走行軌跡消去

地図画面に表示されている走行軌跡を消去することができます。

⑨ オービスデータ消去

別売のオービスROMから読み込んだデータを消去することができます。データが読み込まれていない場合は、表示されません。

各種設定タブ



① メニューカスタマイズ

メニューのカラーカスタマイズ（イルミネーション、メニューデザイン）や“よく使う”メニューの設定、リストサイズの変更などを行うことができます。

② カスタム設定

ⓐ(カスタム) ボタンに割り当てる機能を設定することができます。

③ ロゴマーク表示設定

コンビニなどのロゴマークを地図上に表示させることができます。

④ お好み周辺設定

お好み周辺検索にあらかじめ登録されている施設を変更することができます。

⑤ 通信接続設定

通信機器の接続設定を行うことができます。

⑥ スマートループ設定

スマートループを利用する際のお客様登録や、プローブ情報の送受信に関する設定を行うことができます。

⑦ オープニング画像設定

本機を起動したときに最初に表示される画面をお好みに応じて設定することができます。

⑧ 車両情報設定

車の情報を本機に登録して、駐車場や有料道路の料金案内に利用することができます。

⑨ 機能設定

ナビゲーションの機能をお好みに応じて設定することができます。

⑩ 設定初期化

お好みに応じて設定された機能を工場出荷時の状態に戻すことができます。

調整・補正タブ



① 音量調整

ルート音声案内や操作音、受話着音の音量を調整することができます。

② 自車位置修正

自車位置がずれた場合などに修正することができます。

③ 取付角度補正

本機を取り付けた車種のコンソールの傾きに合わせて、取付角度の補正を行うことができます。

④ カメラ映像表示

本機に接続したバックカメラやフロントカメラの映像を画面に表示して、取付角度の調整などに利用することができます。AV初期設定の「カメラ設定」がOFFの場合は、表示されません。(→「オーディオブック」)

ショートカットメニュー

利用頻度の高い機能（ルート探索や場所の登録など）がショートカットメニューとして割り当てられています。ショートカットメニューを使うと、通常のメニュー操作のステップをいくつか省略して、すばやく操作できます。

1 (ショートカット) にタッチする



その場所に対するショートカットメニューが表示されます。

現在地画面からのショートカットメニュー



① クイックルート探索

今までに検索した場所の履歴をリストで表示して、ワンタッチでルート探索ができます。

② 別ルート

ルート案内中に、案内中のルートとは別のルートを探索することができます。

③ ルート編集

ルート案内中に、案内中のルートの確認や変更などができます。

次ページへつづく

④ ここを登録する

現在の地点を登録することができます。

⑤ 地図スクロール

地図スクロール画面に切り換えることができます。

⑥ マップクリップ

本機で探した場所を2次元バーコード(QRコード)として携帯電話で読み取ることができます。

スクロール画面からのショートカットメニュー



① ここへ行く

探した場所までのルート探索ができます。

② ここへ立ち寄る

探した場所を立寄地として設定できます。

③ 詳細情報を見る

探した場所の名称や住所、電話番号などの情報を見ることができます。

④ ここを登録する

探した場所を登録することができます。

⑤ 地図スクロール

地図スクロール画面に切り換えることができます。

⑥ マップクリップ

本機で探した場所を2次元バーコード(QRコード)として携帯電話で読み取ることができます。



- ・ショートカットメニューは現在地画面とスクロール画面でメニュー内容が異なります。
- ・ショートカットメニューの表示を解除するときは、**戻る**または**↓**にタッチします。

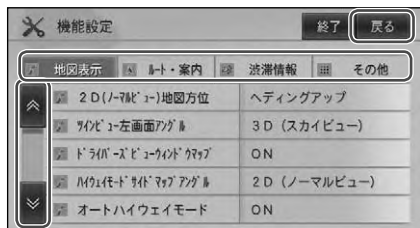
→ショートカットメニューの内容は『ナビゲーションブック』をご覧ください。

リスト操作

操作中に表示されるリスト画面の基本的な操作について説明します。

基本的なリストの操作

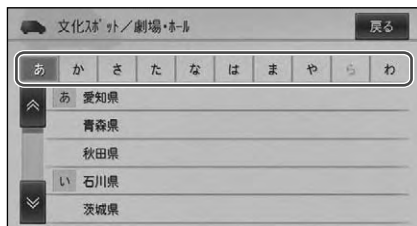
メニュー画面などでは、リストのスクロールやタブによるリストの切り換えなどを行うことができます。



| | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|
| ページ送り 1画面ずつ移動します。 | ▲/▼にタッチする (タッチし続けると、連続で移動します。) |
| タブ送り タブ付きリストでは、選んだタブのリストに切り換わります。 | タブ (例: ルート・案内) にタッチする |
| 1つ前の画面に戻す | 戻る にタッチする |

50音タブ付きリストの操作

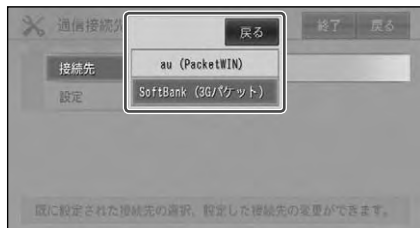
地名などのリストでは50音タブで操作できます。



| | |
|--|--------------------|
| 行送り リストを行送りすることができます。 (例: あ→か→さ→た→な) | タブ(あ~わ)にタッチする |
| 音送り リストを音送りすることができます。 (例: あ→い→う→え→お) | タブ(例: あ)に繰り返しタッチする |

ポップアップメニューの操作

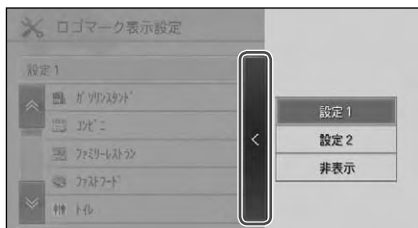
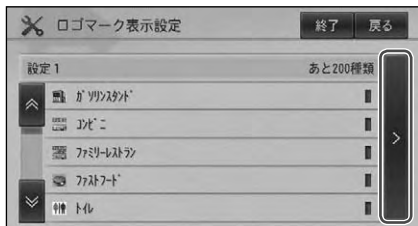
リストの項目によっては、タッチするとポップアップメニューが表示されるものがあります。ポップアップメニューでは、それぞれの項目に対応した機能を選択することができます。



- ・ **戻る** にタッチすると、ポップアップメニューが消えます。

サイドメニューの操作

リストによってはサイドメニューを表示して、並べ替えなどの操作を行うことができます。



サイドメニュー

☑が表示されているときは、サイドメニューを表示できます。リストの並べ替えや削除などの操作をすることができます。

☑にタッチする
サイドメニューを閉じる
には、☒にタッチする

自宅を登録しておこう

本機を使い始める前に自宅の場所を登録しておきます。自宅の場所を登録しておくと、ドライブ先から自宅へ帰るときなどに、簡単な操作でルートを探索できるようになります。

自宅を登録する

1 自宅に車を停める

2 地図画面で**お帰り**にタッチする



- ❗ 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。



- お出かけメニュー (→ P40) の **自宅** にタッチして、自宅を登録することもできます。
- ショートカットメニュー (→ P43) の **ここを登録する** にタッチして、登録地点を自宅として登録することもできます。
- すでに自宅が登録されているときは、自宅を消去してから操作してください。→『ナビゲーションブック』
- 地図画面上で自転車マークが自宅の位置にあることを確認してください。ずれているときは、画面をスクロールして十字カーソルを自宅の位置に合わせてください。→『地図の動かし方』(P35)

3 はいにタッチする



▼
自宅が登録されます。

自宅へ帰る

1 お帰りにタッチする



自宅までのルートが設定されると、設定ルートが明るい緑色で表示されます（細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます）。

- ！ 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の道路標識に従って走行してください。

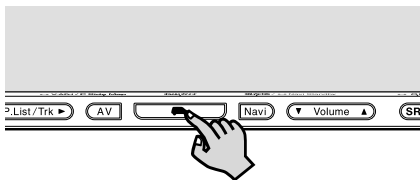


- お出かけメニュー(→ P40)の**自宅**にタッチして、自宅までのルートを探索することもできます。
- 自宅付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します。
- 設定したルートは、車のエンジンスイッチを OFF にしても記憶しています。
- 案内中のルートを消去したいときは、**[消去]** → **ルート消去** → **[はい]** の順に操作します。(→ P53)

目的地へ行こう

お出かけメニューから目的地を探してルート案内してみましょう。
ここでは例として「ジャンルリスト」から「成田国際空港」を探し、目的地とする方法を説明します。

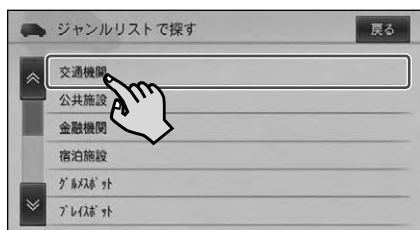
1 車を押す



2 ジャンルリストにタッチする



3 交通機関にタッチする



4 空港 - 都道府県指定の順にタッチする



5 た - 千葉県 の順にタッチする



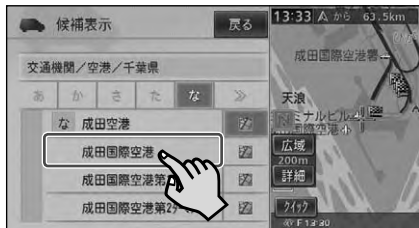
6 50音順にタッチする



検索の結果、該当する施設がリストで表示されます。

次ページへつづく

7 成田国際空港にタッチする



成田国際空港の場所が画面全体に地図表示され、ショートカットメニューが表示されます。

8 ここへ行くにタッチする



9 案内開始にタッチするか、走行を開始する



行き先までのルートが設定されると、設定ルートが明るい緑色で表示されず（細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます）。



- ❗ 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の道路標識に従って走行してください。



- 目的地付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します。
- 設定したルートは、車のエンジンスイッチをOFFにしても記憶しています。
- 案内中のルートを消去したいときは、**（消去アイコン）** → **ルート消去** → **はい** の順に操作します。（→ P54）
- お出かけメニューで利用できる検索方法については、『ナビゲーションブック』 - 「検索」 - 「場所を探す」をご覧ください。
- ルート探索後のルート確認画面の詳しい使いかたについては、『ナビゲーションブック』 - 「ルート」 - 「ルートを確認する」をご覧ください。

ルート案内中の画面

ルート

設定したルートは、一般道が明るい緑色（細街路がピンク色、有料道路は明るい青色）で表示されます。

目的地の方向

現在地と目的地を結ぶピンク色の直線が表示されます。

目的地までの道のり距離と到着予想時刻

ルートインフォメーション

2つ先までの案内地点の距離、進行方向、次の案内地点の交差点名称が表示されます。



方面看板表示

レーン案内表示

レーンごとの進行方向が表示されます。誘導レーンは、緑色（推奨レーンは白矢印）で表示されます。

交差点を通過すると現在地画面に戻ります。

現在地画面



交差点に近づくとき交差点案内画面に切り換わります。

交差点案内画面

アローガイド

曲がる方向や距離などがわかりやすく表示されます。

案内表示／案内表示解除
タッチキー

交差点案内画面の表示／非表示を切り換えます。



- 交差点案内画面の表示は、「アローガイド」、「ドライバーズビュー」、「拡大図」の3種類あり、変更することができます。詳しくは『ナビゲーションブック』-「設定操作」-「機能設定」をご覧ください。

サイレントガイドについて

サイレントガイドとは、ルート案内中の音声案内と地図上の案内表示を最小限にして、目的地までのルート案内を行う機能です。

自宅周辺など道がよくわかっていて付近の走行など案内割り込みが不要な場合や、ルートは分かっているが目的地や立寄地の到着（通過）予想時刻が知りたい場合、エコステータスでエコ運転を心掛けたい場合などに便利です。



- サイレントガイドについて、詳しくは『ナビゲーションブック』-「ルート」-「サイレントガイドについて」をご覧ください。
- 到着予想時刻は、目的地または立寄地で切り換えることができます。
- サイレントガイドの地図画面は、2D（ノーマルビュー）または3D（スカイビュー）に設定しておくことができます。
- サイレントガイド中でも、別ルートへの案内（ルートアドバイザー）やビーコン割り込み情報（VICS 用ビーコンユニット接続時）の表示は行われます。
- サイレントガイド中は、**次の案内地点** にタッチすると、次の案内地点が音声と画面表示で案内されます。（リクエスト案内）
- Ⓞ（カスタムボタン）でサイレントガイドのON/OFFを切り換えることができます。詳しくは『ナビゲーションブック』-「ルート」-「ルート案内中にサイレントガイドをON/OFFする」をご覧ください。

オートリルートについて

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します（オートリルート）。



- ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います（インテリジェントリルート）。

ルートアドバイザーについて

新しいルートが見つかった、「新しい候補ルートが見つかりました」または「渋滞考慮オートリルートを行いました」と音声案内が流れ、新しいルートを表示します（ルートアドバイザー）。



| | |
|------|-------------|
| 新ルート | 新ルートで案内します。 |
| 元ルート | 元ルートで案内します。 |

ルート案内中の操作

次の案内地を確認する (リクエスト案内)

ルートインフォメーションにタッチすると、次の案内地の音声案内が行われ、次の案内地の地図が表示されます。

1 現在地画面でルートインフォメーションの矢印にタッチする



- アローガイド表示中は、画面のアローガイドにタッチすると、リクエスト案内を行うことができます。

ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生した VICS の渋滞・規制情報は自動的に音声で案内します（渋滞オートガイド）。

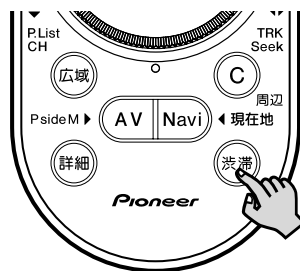


- VICS 情報が取得できないときなどは動作しないことがあります。
- 音声では、“およそ 3km 先、1km の渋滞が発生しています。通過に 5 分ほどかかります。”などと案内されます。

手動で案内させる

ルート上に発生している渋滞情報を確認することができます（渋滞チェック）。

1 現在地画面で渋滞にタッチするか「渋滞」を押す

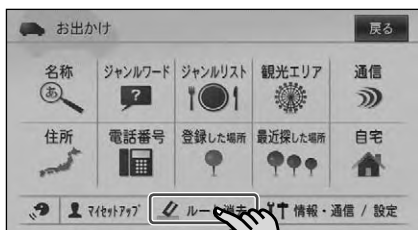


次ページへつづく

渋滞箇所までの距離や渋滞の長さ、通過所要時間などの渋滞状況が文字表示と音声で案内されます。



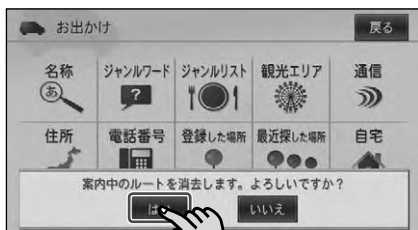
2 ルート消去にタッチする



- 手順 1 の操作を繰り返すことに、最大 5 カ所先の渋滞場所まで順に案内させることができます。
- 案内中のルートが無い場合は、自転車周辺の規制情報のみを表示・案内します。
- 本機が専用サーバーに接続可能な状態にあるときは、**渋滞** に長くタッチすると、オンデマンド VICS やスマートループからの渋滞情報を取得することができます。*
*別途、登録や設定が必要です。(→ P63)

ナビゲーション

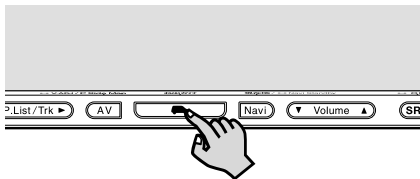
3 はいにタッチする



ルートを消去する

案内中のルートが不要になったときは、ルートを消去してルート案内を中止することができます。

1 を押す



案内中のルートが消去されます。



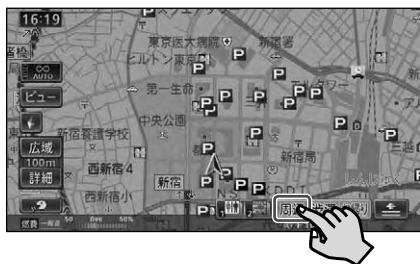
- ショートカットメニュー (→ P43) で **ルート編集** - **ルート消去** にタッチするか、情報・通信 / 設定メニュー (→ P41) の **データ編集** (タブ) - **ルート編集** - **ルート消去** にタッチして操作することもできます。
- 消去したルートは復活できません。

周辺の施設を探してみよう

周辺の施設を探すには、「周辺検索」と「お好み周辺検索」の2つの検索方法があります。

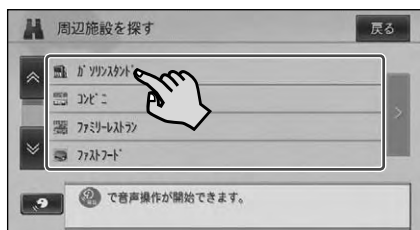
周辺検索で探す

1 周辺にタッチする

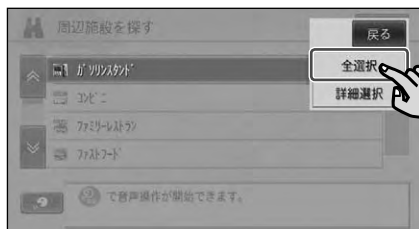


- 工場出荷時は、Ⓞ(カスタムボタン)に「周辺検索」が登録されています。Ⓞ(カスタムボタン)を押して、周辺検索を開始することもできます。
- スクロール中は、カーソル位置周辺の検索となります。

2 表示したいジャンルにタッチする



3 全選択にタッチする



検索の結果がリスト表示されます。



- 「詳細選択」にタッチすると、選んだジャンルをさらに詳細に絞り込んでいきます。
- 周辺に選んだジャンルがない場合は、「この周辺にデータがありません。」とメッセージが表示されます。

4 候補の施設を表示し、情報更新タッチキーにタッチする



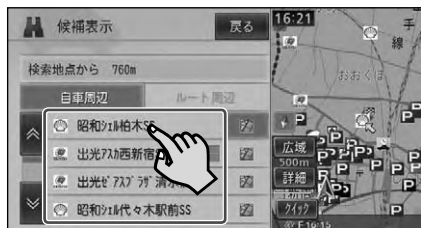
タッチした施設の地図が画面右側に表示されます。



- リストは、自車位置あるいはカーソル位置から近い順に表示されます。

次ページへつづく

5 施設名にタッチする




タッチした施設を中心とする地図が画面全体に表示され、ショートカットメニューが表示されます。



- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の道路標識に従って走行してください。



- 目的地付近に到着すると自動的に終了します。案内中のルートが消去したいときは、 → **ルート消去** → **はい**の順に操作します。(→ P54)
- 検索したジャンルのロゴマークが地図上に表示されます。
- ルート探索後のルート確認画面の詳しい使いかたについては、『ナビゲーションブック』 - 「ルート」 - 「ルートを確認する」をご覧ください。

6 ここへ行くにタッチする



7 案内開始にタッチするか、走行を開始する



行き先までのルートが設定されると、設定ルートが明るい緑色で表示されます（細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます）。

お好み周辺検索で探す

お好み周辺検索は、タッチキーに登録されている3つのジャンルの施設を周辺検索することができます。

お好み周辺検索には、あらかじめ次の施設が登録されています。



(お好み周辺 1)

トイレ、ガソリンスタンド、コンビニ
(トイレ関係)



(お好み周辺 2)

ファミリーレストラン、ファストフード、コンビニ (食事関係)



- お好み周辺検索に登録されている施設は、変更することができます。詳しくは、『ナビゲーションブック』-「設定操作」-「その他の設定」をご覧ください。

1 お好み周辺 1 または 2 にタッチする



現在地またはスクロール位置に最も近い施設が表示されます。

2 次の施設または前の施設にタッチして目的の施設を選ぶ



| | |
|-------------|-------------------|
| 次の施設 | 次に近い施設を表示します。 |
| 前の施設 | 1つ前に表示した施設を表示します。 |



- ルート案内中でルート沿いに施設がある場合は、**自転車周辺**にタッチすると自転車周辺検索を行います。
- 自転車周辺検索を行った場合は、**ルート周辺**が表示され、タッチするとルート周辺検索を行います。

3 ここへ行くにタッチする



- ルート案内中に立寄地が5件未満の場合は、**ここへ立ち寄る**にタッチすると行き先はそのままで立寄地として、選んだ施設を設定することができます。

次ページへつづく

4 案内開始にタッチするか、走行を開始する




行き先までのルートが設定されると、設定ルートが明るい緑色で表示されます（細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます）。

ナビゲーション

- ❗ 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の道路標識に従って走行してください。

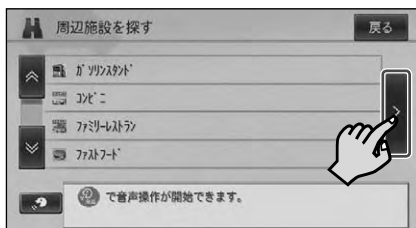


- 目的地付近に到着すると自動的に終了します。
- 案内中のルートが消去したいときは、 → **ルート消去** → **はい** の順に操作します。(→ P54)
- 検索したジャンルのロゴマークが地図上に表示されます。

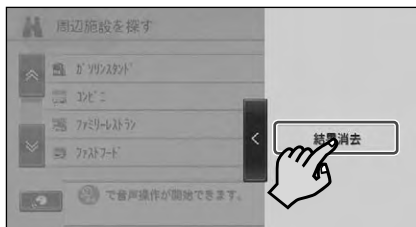
表示されたマークを消すとき

周辺検索またはお好み周辺検索を行ったあとは、検索を行った施設のロゴマークが地図上に表示されます。

1 周辺一▶にタッチする



2 結果消去にタッチする



表示されていたロゴマークが消去されます。



- エンジンを OFF にしてもロゴマークは消去されます。

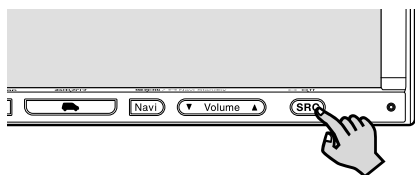
音楽や映像を楽しむ

CD、ミュージックサーバー、DVDなどの音源や映像のことをAVソースと呼びます。

AVソースを切り換える

AVソースメニューから
選んで切り換える

1 SRCを押す



▼
AVソースメニューが表示されます。

2 お好みのAVソースにタッチする



▼
選んだAVソースに切り換わります。



- AVソースメニューは、AVソース画面のAVソース名にタッチして表示することもできます。→『オーディオブック』
- 接続していない機器や設定されていないAVソースは選べません。
- よく使うメニューでAVソースメニューを登録した場合は、登録したAVソースのみ、選ぶことができます。

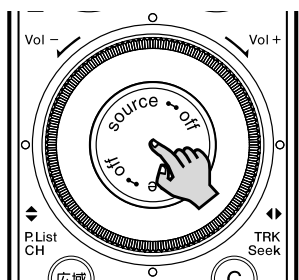
AVソースについて

| | |
|---------------------------------|---|
| DISC (DVD-V/CD/ ROM/DivX) | 音楽CD、楽曲など(WMA/MP3/AAC)を記録したCD-ROM、DVD-V、DVD-VR、DivXを再生することができます。詳しくは『オーディオブック』-「音楽ディスク」、「映像ディスク」をご覧ください。 |
| MSV (ミュージック サーバー) | 音楽CDから本機に録音したデータや、USBメモリーから本機へ転送した楽曲データ(WMA/MP3)を再生することができます。詳しくは『オーディオブック』-「ミュージックサーバー」をご覧ください。 |
| FM/AM | ラジオを受信して聞くことができます。詳しくは『オーディオブック』-「放送受信」をご覧ください。 |
| 地上デジタル TV | 地上デジタルテレビ放送を受信して見るすることができます。詳しくは『オーディオブック』-「放送受信」をご覧ください。 |
| iPod | 本機に接続したiPodを操作することができます。接続には別売のiPod接続用ケーブル「CD-I021」が必要です。詳しくは『オーディオブック』-「その他の機器」をご覧ください。 |
| VTR | 本機にビデオなどを接続して映像を見ることができます。詳しくは『オーディオブック』-「その他の機器」をご覧ください。 |
| BT AUDIO | 本機とBT AUDIO機器をワイヤレスで接続して、本機のAVソースとして楽しむことができます。接続には別売のBluetoothユニット「ND-BT10」が必要です。詳しくは『オーディオブック』-「その他の機器」をご覧ください。 |

| | |
|------------------------|---|
| AUX (外部機器) | 本機に接続したポータブルプレーヤーなどの外部機器の音声を聞くことができます。詳しくは『オーディオブック』-「その他の機器」をご覧ください。 |
| EXT1/EXT2 (エクスターナル) | 本機が AV ソースとして対応していない IP-BUS 機器 (アナログ TV チューナーやマルチ DVD プレーヤーなど) を接続した場合、エクスターナルユニットとして、操作することができます。詳しくは『オーディオブック』-「その他の機器」をご覧ください。 |
| 交通情報 | 幹線道路などで放送されている AM の交通情報を受信して聞くことができます。詳しくは『オーディオブック』-「放送受信」をご覧ください。 |

リモコンで切り換える

1 source を押す

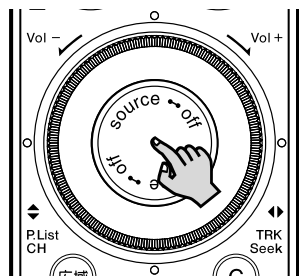
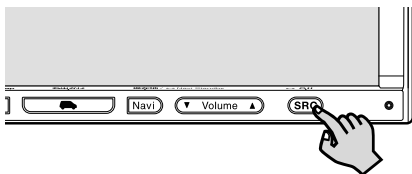


押すごとに AV ソースが切り換わります。

- 交通情報へは切り換わりません。
- 接続されていない機器や設定されていない AV ソースへは切り換わりません。

AV ソースを OFF にする

1 SRC または source を長く押す



AV ソースが OFF になります。



- もう一度 **source** を押すと、OFF にする前の AV ソース画面に戻ります。
- AV ソースメニュー (→ P59) で **OFF** にタッチして AV ソースを OFF にすることもできます。

AV ソースを操作する

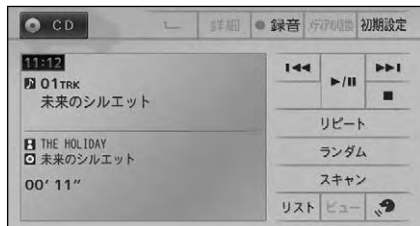
基本的な AV ソースの操作方法について、CD を聴く場合を例に説明します。



- 選んだソースによって、操作方法や操作結果は異なります。詳しい AV ソースの操作方法については、『オーディオブック』をご覧ください。
- あらかじめ再生したい CD を挿入してください。(→ P26)

操作タッチキーで操作する

通常再生画面

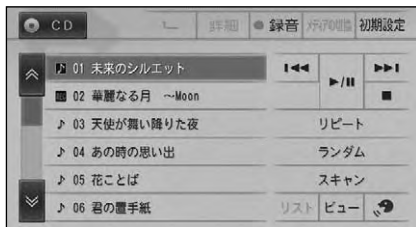


| | |
|-----------------------|---------------------------------|
| 録音 | ミュージックサーバーへの録音を開始します。 |
| 初期設定 | AV 初期設定メニューを表示します。(→『オーディオブック』) |
| ◀▶ | トラックのダウン/アップ(選曲)を行います。 |
| ◀▶ (長くタッチする) | 早戻し/早送りをを行います。 |
| ▶ | 再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。 |
| ■ | 再生を停止します。 |
| リビート、ランダム、スキヤン | タッチすることで、特殊再生を行います。 |
| リスト | リスト画面を表示します。 |



- DVDビデオなど映像系のソースによっては、操作タッチキーが表示されず、映像が表示される場合があります。画面にタッチすると、操作タッチキーを表示することができます。

リスト画面

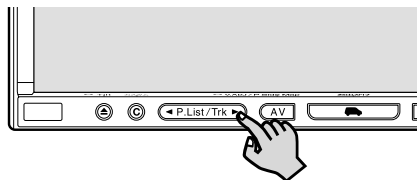


| | |
|--------------|--------------------|
| リスト項目 | タッチした曲を再生します。 |
| ⬆️/⬇️ | リストを1画面ずつ上下に移動します。 |
| ビュー | 通常再生画面を表示します。 |



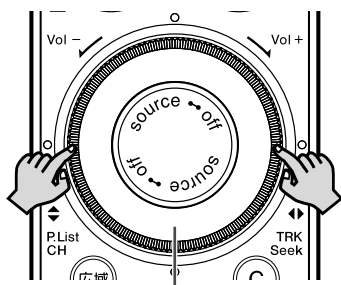
- リスト画面は、地上デジタルテレビ、ラジオ (FM/AM) は約 8 秒、その他の AV ソースは約 20 秒間何も操作しないと通常再生画面に戻ります。

本体のボタンで操作する



| | |
|----------------------------|------------------------|
| ◀P.List/Trk▶ | トラックのダウン/アップ(選曲)を行います。 |
| ◀P.List/Trk▶ (長く押す) | 早戻し/早送りをを行います。 |

リモコンで操作する



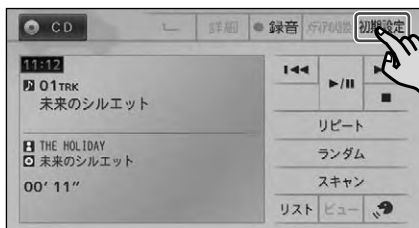
ロータリーコマンド&セレクター

| | |
|----------------|------------------------|
| ◀ / ▶ | トラックのアップ/ダウン(選曲)を行います。 |
| ◀ / ▶ (長押し) | 早戻し/早送りを行います。 |

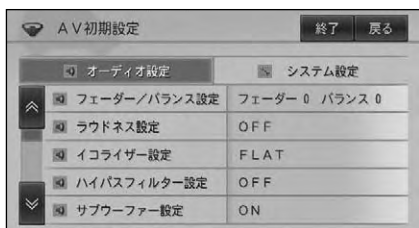
オーディオの音や機能を設定する

AV 初期設定画面にはオーディオ設定とシステム設定の2つがあり、オーディオ設定ではオーディオの音を、システム設定では各機能の操作に関する設定を行うことができます。

1 AV ソース画面で初期設定にタッチする



2 項目を選んで、設定を行う

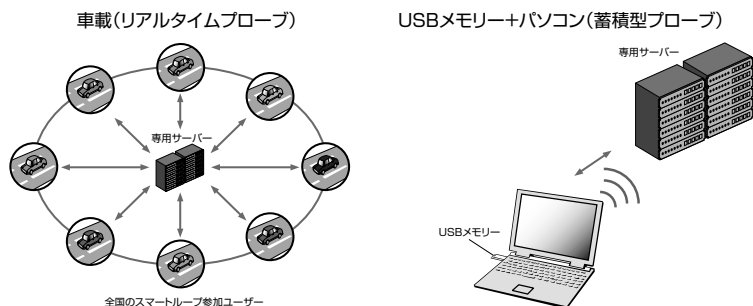


- **オーディオ設定**または**システム設定**にタッチすると、それぞれに含まれる設定項目の先頭から表示させることができます。
- **戻る**または**終了**にタッチすると、AV ソース画面に戻ります。

スマートループを利用する

「スマートループ」とは、ご利用登録していただいたお客様からご提供いただく走行履歴データや地点データ、オートパーキングメモリーデータなどを専用サーバーで蓄積管理し、カロツェリア独自のデータを加えてスマートループ参加ユーザーへ配信する情報共有システムです。

スマートループの利用方法は、車載でのご利用と、USBメモリーと「ナビスタジオ（楽ナビ用）Ver.2.1」をインストールしたパソコンを組み合わせてのご利用の2通りがあります。（蓄積型プローブ、スマートループドットログ、スマートループドライブレポート等）



・蓄積型プローブデータは最大で約 1000km 分が本機内蔵のハードディスクに保存され、それを超えると古いデータから順に削除されます。

スマートループ渋滞情報を利用するために必要なこと

スマートループ渋滞情報を利用するためには、次の4つのステップで登録や設定を行います。

- ① 通信機器を準備する (→P64)
- ▼
- ② 通信接続設定をする (→P64)
- ▼
- ③ お客様登録およびスマートループ利用登録をする (→P65, 66)
- ▼
- ④ スマートループ設定をする (→P67)

通信機器を準備する

お使いになる通信機器に合わせて、必要な別売品があります。

携帯電話をお使いの場合

- ・FOMA 用ケーブル「CD-H15」(2m)
- ・CDMA 1X WIN 用ケーブル「CD-H16」(2m)
- ・Bluetooth アダプター「ND-BT10」



・本機に、PDC 用ケーブル「CD-H13」、CDMA 1X/cdmaOne 用ケーブル「CD-H14」および、Bluetooth ユニット「ND-BT1」は接続できません。

WILLCOM製データ通信専用通信モジュール「WS022IN」をお使いの場合

- ・「WS022IN」に付属の変換コードまたは別売の拡張ユニット経由で本機に接続します。



・別売の拡張ユニットを使って、携帯電話と通信モジュールを同時に接続された場合、専用サーバーへの接続は通信モジュールで行い、携帯電話では電話機能のみご利用になります。

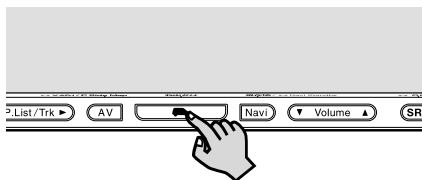
通信接続設定をする

データ通信に使用する通信機器を本機に登録します。

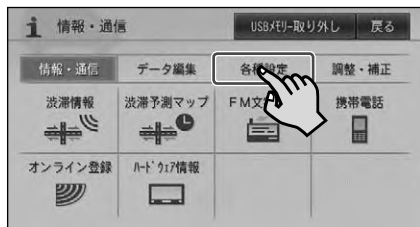


- 登録の方法は、プロバイダリストから選ぶ方法と手動で設定する方法があります。ここでは、プロバイダリストから選ぶ方法を説明します。手動で設定する方法については『ナビゲーションブック』－「通信接続設定」をご覧ください。
- Bluetooth 対応の携帯電話をお使いの場合は、Bluetooth の接続設定も必要です。詳しくは『ナビゲーションブック』－「通信接続設定」をご覧ください。

1 地図画面で を押す



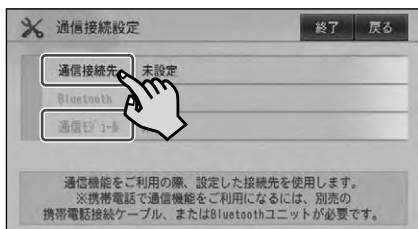
2 情報・通信 / 設定－各種設定(タブ)にタッチする



3 通信接続設定にタッチする



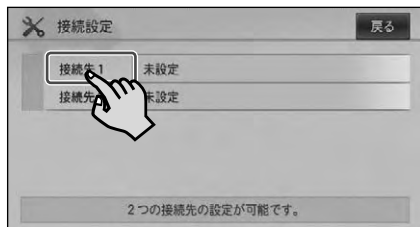
4 通信接続先または通信用ジュールにタッチする



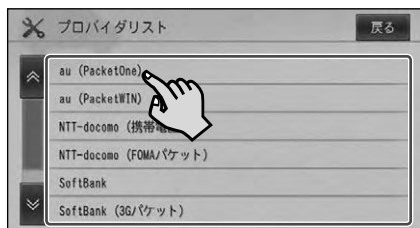
5 設定にタッチする



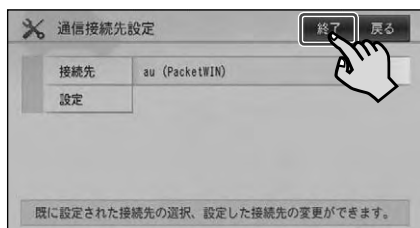
6 接続先1にタッチする



7 接続する携帯電話のタイプまたは通信モジュールに合わせたプロバイダにタッチする



8 終了にタッチする

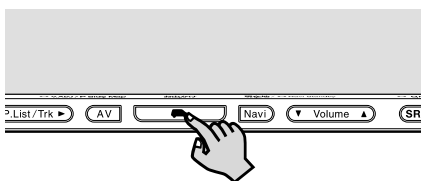


以上で、通信接続設定は完了です。

お客様登録およびスマートループ利用登録をする（本機の通信機能を使用する場合）

本機の通信機能を使用して、お客様登録とスマートループ利用登録を行います。

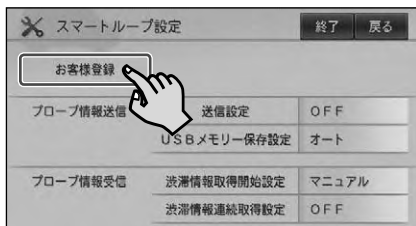
1 [Car Icon] を押す



2 情報・通信 / 設定 - 各種設定 (タブ) - スマートループ設定にタッチする

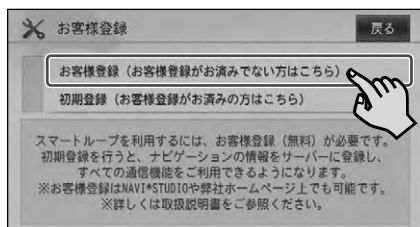


3 お客様登録にタッチする



次ページへつづく

4 お客様登録にタッチする



5 約款を読んでから同意するにタッチする

以降は、画面に従い必要な情報を順次入力して登録を行います。

以上で、お客様登録およびスマートループ利用登録は完了です。
続いてスマートループ設定 (→ P67) を行ってください。



- お客様登録が完了すると、自動的にスマートループ利用登録も完了し、利用期間が12ヶ月に設定されます。
- 必要に応じて、スマートループ利用期間を変更してください。→『ナビゲーションブック』-「スマートループの利用期間の変更と利用停止を行う」

お客様登録およびスマートループ利用登録をする (インターネットを利用する場合)

パソコンでお客様登録とスマートループ利用期間の設定を行い、本機の通信機能を利用して初期登録を行うことでスマートループが使用可能になります。

1 下記 URL にアクセスして、お客様登録とスマートループ利用登録を行う

<http://pioneer.jp/support/members/>

以上でお客様登録とスマートループ利用登録は完了です。
続いて初期登録を行います。

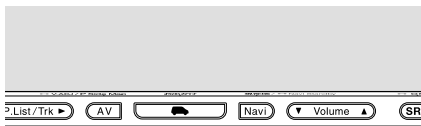
2 P65 の手順 1 から操作を行い、手順 4 で初期登録にタッチする

ニックネームとパスワードを入力し、初期登録完了画面が表示されれば、初期登録は完了です。
続いてスマートループ設定 (→ P67) を行ってください。

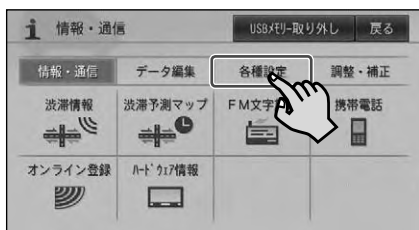
スマートループ設定をする

スマートループの利用方法の設定を行います。

1 を押す



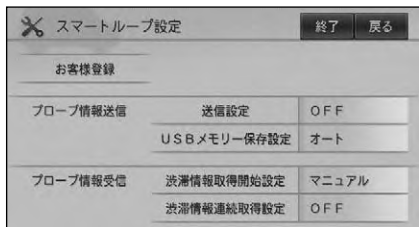
2 情報・通信 / 設定 - 各種設定(タブ)にタッチする



3 スマートループ設定にタッチする



スマートループ設定画面が表示されます。



プローブ情報送信設定をする

プローブ情報を送信する (ON) または送信しない (OFF) に設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

1 送信設定にタッチする



2 ON または OFF にタッチする



- ON** プローブ情報を送信します。
- OFF** プローブ情報は送信しません。



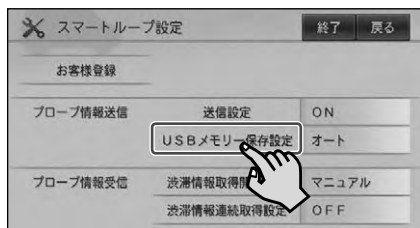
• OFF に設定すると、スマートループは利用できません。また、それまで本機内に蓄積したプローブ情報は消去されます。

USB メモリーへの保存設定

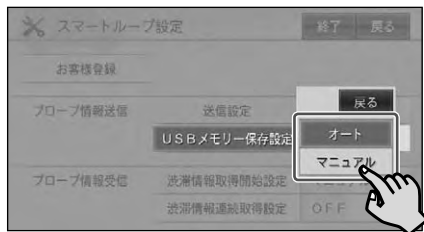
プローブ情報を USB メモリーへ保存する際の方法を自動（オート）または手動（マニュアル）に設定します。

工場出荷時は「オート」です。

1 USBメモリー保存設定にタッチする



2 オートまたはマニュアルにタッチする



オート **☞AUTO** にタッチしたときおよび自宅周辺 500m の範囲に入ったときに、自動的に USB メモリーへ保存します。

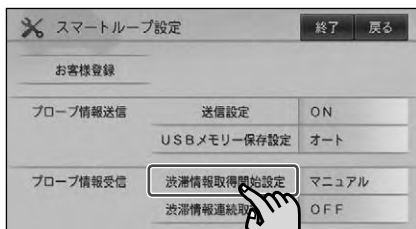
マニュアル **☞MANUAL** にタッチしたときに、USBメモリーへ保存します。

渋滞情報取得開始設定

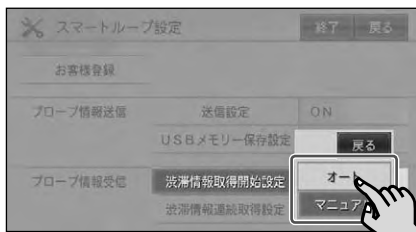
サーバーから配信される情報の受信のしかた（自動/手動）について設定します。

工場出荷時は「マニュアル」です。

1 渋滞情報取得開始設定にタッチする



2 オートまたはマニュアルにタッチする



オート 本機が通信機器の接続を確認した時点で、情報の取得を行います。

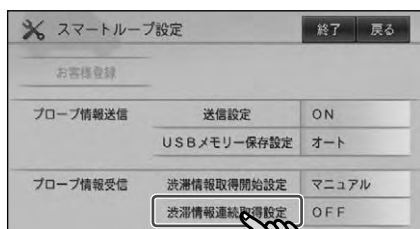
マニュアル 地図画面で**渋滞**に長くタッチすると、情報の取得を行います。

渋滞情報連続取得設定

専用サーバーから配信される情報を取得後、一定間隔で続けて取得するかどうかについて設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

1 渋滞情報連続取得設定にタッチする



2 ONまたはOFFにタッチする

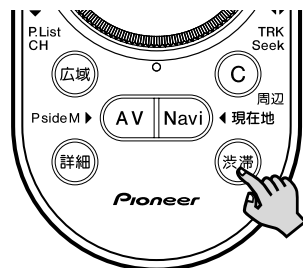


ON 情報の取得を一定間隔で行います。

OFF 連続での情報取得は行いません。

スマートループ渋滞情報の取得のしかた

1 地図画面で渋滞に長くタッチするか渋滞を長く押す



スマートループ渋滞情報を取得します。

スマートループ

スマートループ渋滞情報取得画面について

取得したスマートループ渋滞情報は、VICS情報とは区別して表示されます。

一般道への表示

渋滞 赤色の点線 (白い縁取り)

混雑 橙色の点線 (白い縁取り)

順調 空色の点線 (白い縁取り)

有料道路への表示

渋滞 赤色の点線 (青い縁取り)

混雑 橙色の点線 (青い縁取り)

順調 空色の点線 (青い縁取り)



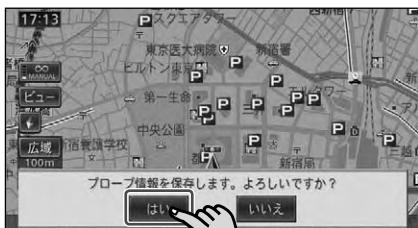
情報提供時刻表示

| | |
|----|-----------------------|
| 橙色 | 情報受信後 5 分未満の状態 |
| 青色 | 情報受信後 5 分以上 30 分未満の状態 |

1 地図画面で **MANUAL** または **AUTO** にタッチする






2 はいにタッチする



いいえ にタッチすると、プローブ情報の保存を中止します。

プローブ情報の保存が開始されます。

- 
 USB メモリアクセス中マーク  が表示されている間は、本機の電源を OFF にしたり、USB メモリーを抜いたりしないでください。USB メモリー内のデータが破損する恐れがあります。

- 
 自宅を登録 (→ P47) 済みで、USB メモリー保存設定 (→ P68) を「オート」に設定している場合は、自宅周辺の約 500 m 範囲内に入ると自動的にプローブ情報の保存を行います。
- MANUAL** または **AUTO** に長くタッチすると、オートとマニュアルの設定を切り換えることができます。

プローブ情報の保存のしかた

プローブ情報を USB メモリーへ保存する方法を説明します。



スマートループの利用準備が完了していない場合および使用可能な USB メモリーが本機に接続されていない場合は、操作できません。



自宅を登録 (→ P47) 済みで、USB メモリー保存設定 (→ P68) を「オート」に設定している場合は、自宅周辺の約 500 m 範囲内に入ると自動的にプローブ情報の保存を行います。

MANUAL または **AUTO** に長くタッチすると、オートとマニュアルの設定を切り換えることができます。

ナビスタジオの機能

パソコンリンクソフト「ナビスタジオ（楽ナビ用）Ver.2.1」を使用して、パソコンで作成した地点の情報、音楽・画像などをUSBメモリーへ転送し、本機に読み込ませることができます。



- 各機能について詳しくは、「ナビスタジオ（楽ナビ用）Ver.2.1」のヘルプまたは弊社ホームページ（<http://carrozzeria.jp>）をご覧ください。
- USBメモリーへの転送以外にも、自動設定CDを作成して本機にデータを読み込ませることもできます。自動設定CD経由で読み込みができるデータは、「地点登録データ」、「カラースタマイズデータ」、「オープニング画像（1枚のみ）」です。

ナビスタジオを使う

ナビスタジオが起動すると、パソコン上に以下のような画面が表示されます。

画面上部の各タブをクリックして、それぞれのページを表示します。



- ナビスタジオ起動時には、USBメモリー選択画面が表示され、パソコンに接続されたUSBメモリーが一覧で表示されます。お使いになるUSBメモリーを選んでください。また、USBメモリー選択画面を起動時に表示させるかどうかは、お好みにより設定を変更することもできます。
- USBメモリー内にプローブ情報が保存されている場合は、自動的にプローブ情報の送信を行います。送信後は、USBメモリー内のプローブ情報は自動的に削除されます。
※ナビ本体から初期登録が行われていない場合は、プローブ情報アップロード時に初期登録を促す画面が表示されます。

「お客様登録/確認/変更」でできること

「お客様登録/確認/変更」をクリックするとパソコンのウェブブラウザが起動し、弊社ホームページ上のお客様登録画面を表示します。お客様登録画面では、ユーザー登録やスマートループ利用登録などが行えます。

「楽曲 (WMA/MP3) データ」でできること

パソコン内の音楽ファイル (WMA/MP3) でプレイリストを作成したり、画像をリンクさせたりできます。



- パソコンリンクソフト「ナビスタジオ（楽ナビ用）Ver.2.1」を使ってパソコンからUSBメモリーへ転送できる楽曲データは、WMA/MP3ファイルのみです。著作権保護のかかった楽曲データやWMA/MP3以外のフォーマットの楽曲データなどは転送できません。

『登録した場所データ』でできること

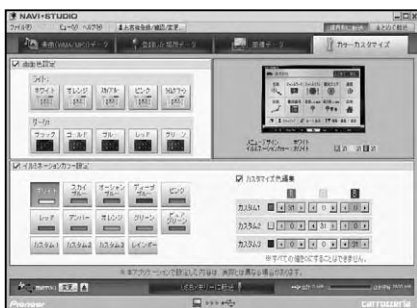
登録地点の登録や編集を行うことができます。また、お好みの画像をリンクさせることもできます。

スマートループをご利用の場合は、スマートループ地点情報ダウンロードからダウンロードした地点データを読み込むことができます。



『カラーカスタマイズ』でできること

メニューデザインやイルミネーションカラーを設定することができます。



『画像データ』でできること

本機のオープニング画像や楽曲データ、登録した場所にリンクさせる画像を、編集・設定することができます。



取り扱い上のご注意

液晶画面の正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出る場合があります。
- 液晶画面は指定温度範囲内でお使いください。→「仕様」(P80)
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。



- 液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。
- 携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナを液晶画面に近づけないでください。画面に斑点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)が出ることがあります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさげてください。
- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。

LED バックライトについて

- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED 保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- LED バックライトの寿命は 1 万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LED バックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店または修理受付センター(沖縄県のみ沖縄サービスステーション)にご連絡ください。

お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- むれたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

ディスクの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 下記マークのついたディスクをご使用ください。

DVD ビデオ



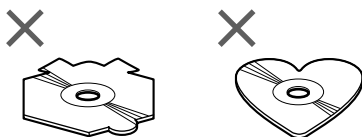
CD



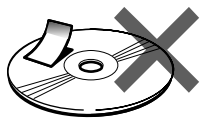
- ひび、キズ、そのりのあるディスクは使用しないでください。



- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



- ディスクを持つときは、記録面（虹色に光っている面）を触らないようにしてください。
- ディスクにキズを付けしないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けしないでください。

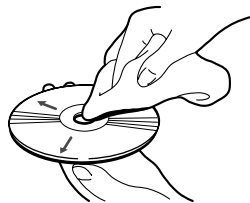


● 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

- 再生できるディスクの種類やファイル形式などについては『オーディオブック』をご覧ください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ向かって軽く拭いてください。

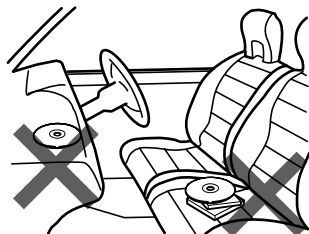


- ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



保管上のご注意

- ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

- 走行中に振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。
- 低温時、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部のレンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

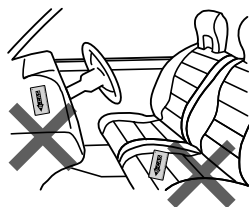
B-CAS カードの正しい使いかた

B-CAS カードの取り扱いについて

B-CAS カードは必要なとき以外は抜かないでください。

- ー 必要がないのに抜き差しすると故障の原因になります。
- ー B-CAS カードの中には IC が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないように注意してください。
- ー 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意してください。

- ❗ 直射日光の当たるところや高温になるところには、B-CAS カードを保管しないでください。



- 磁石の近くやテレビの上など、磁気のあるところに置いたままにしないでください。
- B-CAS カード以外のカードを本機に入れないでください。また、B-CAS カードにはシールなどを貼らないでください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは本機をリセットしてください。それでも直らないときは「保証書とアフターサービス」(→P79)をお読みになり修理を依頼してください。(『ナビゲーションブック』、『オーディオブック』の「故障かな？と思ったら」もご覧ください。)

共通項目

電源が入らない、動作しない

| 原因 | 処置 |
|---------------------------|--|
| ヒューズが切れている。 | ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。→『取付説明書』 |
| ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。 | リセットボタンを押してください。 →『リセットについて』(P13) |

リモコンで操作できない、操作に合った正しい動作をしない

| 原因 | 処置 |
|------------------------|--|
| 電池の(+)と(-)の向きを逆に入れている。 | 正しく入れてください。 →『リモコンの使いかた』(P24) |
| リモコン受光部に直射日光が当たっている。 | リモコン受光部に近づけて操作してください。 →『リモコンの使いかた』(P24) |
| 電池が消耗している。 | 新しい電池に交換してください。 →『リモコンの使いかた』(P24) |

エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がする

| 原因 | 処置 |
|--------------------|----------|
| 本機がディスクの有無を確認している。 | 正常な動作です。 |

映像が出ない

| 原因 | 処置 |
|------------------------|---|
| パーキングブレーキコードが接続されていない。 | パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 |
| パーキングブレーキをかけていない。 | →『取付説明書』 |
| ナビスタンバイ状態になっている。 | スタンバイ状態を解除してください。 →『画面を一時的に消す(ナビスタンバイ)』(P29) |

音が出ない

| 原因 | 処置 |
|-------------|--------------------------|
| 音量が0になっている。 | 音量を上げてください。 |
| 接続が間違っている。 | 接続を確認してください。 →『取付説明書』 |

ナビのガイド音声やハンズフリーの音量を調整できない

| 原因 | 処置 |
|-------------------------|---|
| 本機またはリモコンの音量ボタンを操作している。 | ナビの案内音量、操作音量、受話音量、着信音量の調整は、ナビのメニューで調整します。(→P31) |

液晶画面が暗い

| 原因 | 処置 |
|--------------------|---|
| 「明るさ」の調整が適切でない。 | 「明るさ」を調整してください。 →『オーディオブック』 |
| 画面モニターの角度調整が適切でない。 | 画面モニターの角度を調整してください。 →「画面モニターの角度を調整する」(P30) |

ナビゲーション

自車位置を測位できない、自車位置がずれる

| 原因 | 処置 |
|----------------------------|---|
| 簡易ハイブリッドシステムになっている。 | 簡易ハイブリッドシステムは3Dハイブリッドシステムに比べて測位精度が悪くなります。3Dハイブリッドシステムにするには、車速パルスを接続してください。 |
| GPS アンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。 | GPS アンテナの上には何も置かないでください。ワイパーなど、電波をさえぎる物があるときは、GPS アンテナの位置を変えてください。 |
| GPS 受信感度が低い。 | GPS アンテナの感度を確認して、GPS アンテナの位置を変更してください。車内に取り付けられている場合は、必ず金属シートを使用してください。 →『取付説明書』 |
| 車速パルスが正しく入力されていない。 | 接続状態画面で、接続を確認してください。 →『取付説明書』 |

DVD

再生できない

| 原因 | 処置 |
|--------------------------|--|
| ディスクが汚れている。 | 汚れを拭き取ってください。 →「ディスクの正しい使いかた」(P74) |
| 本機で再生できない種類のディスクが入っている。 | ディスクを確認してください。 →『オーディオブック』 |
| PAL 方式のディスクを挿入している。 | NTSC 方式のディスクに交換してください。 |
| 本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。 | 本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。本機のリージョン番号は「2」です。 |

CD、ROM (WMA/MP3/AAC/DivX)

再生できない

| 原因 | 処置 |
|-------------------------|---------------------------------------|
| ディスクが汚れている。 | 汚れを拭き取ってください。 →「ディスクの正しい使いかた」(P74) |
| 本機で再生できない種類のディスクが入っている。 | ディスクを確認してください。 →『オーディオブック』 |

地上デジタル TV

受信できない

「受信できません」または「スキャンを実行してください」または「サービスが登録されていません」というメッセージが表示される

| 原因 | 処置 |
|----------------------|---|
| チャンネルスキャンをしていない。 | 初めて使うときやバッテリーを外したとき、「視聴者設定クリア」(→『オーディオブック』)をしたときは、チャンネルスキャンをしてください。 →「地上デジタル TV 放送を見るための準備」(P18) |
| 車両に電波シールドガラスが使われている。 | 外付けの地上デジタル TV 用アンテナを使用してください。 |

ワンセグ放送しか受信できない

「IC カードを正しく装着してください」または「この IC カードは使用できません ECO1」というメッセージが表示される

| 原因 | 処置 |
|-----------------------------|---|
| B-CAS カード以外のカードを挿入した。 | B-CAS カードを正しく挿入してください。→「B-CAS カードを入れる」(P18) |
| B-CAS カードを挿入していない。 | B-CAS カードを正しく挿入してください。→「B-CAS カードを入れる」(P18) |
| B-CAS カードの表裏や向きを間違えて挿入している。 | B-CAS カードを挿入してください。→「B-CAS カードを入れる」(P18) |

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ、沖縄サービスステーション）にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「サービス窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ、沖縄サービスステーション）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

◆共通部

最大消費電流：10A
 使用電圧：DC14.4V
 (10.8V～15.1V使用可能)

◆GPS部

受信方式：
 12チャンネルマルチチャンネル受信方式

◆オーディオ部

最大出力：50W × 4
 負荷インピーダンス：4Ω
 (4Ω～8Ω使用可能)

外部映像入力レベル：1Vp-p/75Ω

7バンドグラフィックイコライザー：

周波数：50/125/315/800/
 2k/5k/12.5k[Hz]

調整幅：±12dB (2dB/step)

サブウーファー出力：

カットオフ周波数：
 50/63/80/100/125[Hz]

◆DVDプレーヤー部

リージョンNo：2

対応メディア：

DVD-VIDEO、DVD-R/RW (videomode/
 VRmode)、CD-ROM、CD-DA、CD-R/RW

デコーディングフォーマット：

DivX：HomeTheater
 Ver.3.11、Ver.4、Ver.5.2

WMA：Windows Media Audio
 Ver.7 & 8 & 9

MP3：MPEG-1 & 2 & 2.5
 AUDIO LAYER-3

AAC：iTunes Ver.4.6

◆FMチューナー部

受信周波数帯域：76.0MHz～90.0MHz
 音声：ステレオ

◆AMチューナー部

受信周波数帯域：522kHz～1629kHz
 音声：モノラル

◆地上デジタルTVチューナー部

放送方式：地上デジタル放送方式 (日本)
 受信チャンネル：470MHz～770MHz
 (UHF13ch～62ch)

アンテナ入力：50Ω × 4

◆モニター部

画面サイズ：7.0型ワイド
 画素数：1 152 000画素
 [水平800 × 垂直480 × 3(RGB)]
 方式：TFTアクティブマトリクス方式
 バックライト：LED
 使用温度範囲：-10℃～+50℃
 保存温度範囲：-20℃～+80℃

◆地上デジタルTV用フィルムアンテナ

使用電源：DC8V
 出力端子：専用プラグ × 4

◆外形寸法

本体取付寸法：
 178(W) × 100(H) × 168(D) mm

本体ノーズ寸法：
 171(W) × 97(H) × 7(D) mm

リモコン：
 37(W) × 84(H) × 21(D) mm

GPSアンテナ：
 33(W) × 15(H) × 36(D) mm

地上デジタルTV用フィルムアンテナ：
 118(W) × 102(H) × 0.4(D) mm

◆質量

本体：3.2kg
 リモコン：40g (電池含む)

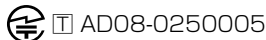
◆付属品

GPSアンテナ：1
 地上デジタルTV用フィルムアンテナ：1式
 B-CASカード：1
 リモコン：1
 ※リチウム電池 (CR2032) × 1 装着済み
 音声認識用マイク：1
 USB変換アダプター：1
 取付キット：一式*1
 コード類：一式*1
 スタートブック：1
 オーディオブック：1
 ナビゲーションブック：1
 取付説明書：1
 安全上のご注意：1
 サービス窓口のご案内：1
 保証書：1
 お客様登録カード：1

※1 取付キットおよびコード類の詳細につ
 きましては、『取付説明書』をご覧ください。

◆その他、商標・著作権等

- 本製品は、電気通信事業法に基づく設計認証を取得しています。



- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーの商標です。



- 米国特許 5451942 号、または、米国およびその他の国での登録済み特許、または特許申請中の実施権に基づき製造されています。DTS および DTS Digital Out は、DTS 社の登録商標であり、また、DTS のロゴおよび記号は DTS 社の商標です。

©1996-2008 DTS 社 不許複製。



- 本製品は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。
- DivX® video を再生できます。
- DivX® は DivX, Inc. の登録商標であり、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。



- Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。



- MP3 とは「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送*で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送*で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。* 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。
- iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPod は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。



- iPhone は、Apple Inc. の商標です。



- Gracenote® および CDDB は グレースノート社の登録商標です。Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはグレースノート社の商標です。



※ Gracenote の概要、特許及び商標、エンドユーザー使用許諾書については「オーディオブック」に記載されています。

- FOMA/ フォーマは株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの登録商標です。
- cdmaOne は CDG (CDMA Development Group) の登録商標です。
- VICS® は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- DVD VIDEO は DVD フォーマットロゴライセンシング (株) の商標です。

- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。





- 「マップクリップ」はインクリメント P (株) の登録商標です。
- QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。
- “ATRAC” はソニー株式会社の商標です。
- 本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。
- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。
- ACCESS、NetFront は、日本国、米国及びその他の国における株式会社 ACCESS の商標または登録商標です。
- ©2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

- Portions of the software in this product are copyright 1996-2002 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved. Licensed under the FreeType Project LICENSE, 2006-Jan-27. (<http://www.freetype.org/FTL.TXT>)
- その他、製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
- お客様が録音 (録画) したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 弊社は、本製品に収録された地図データ等が完全・正確であること、及び本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPS の測位範囲が異なる外国ではご使用頂けません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。

ACCESS™ NetFront® Browser

- 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- 本製品には、以下の Mozilla Public Licence (以下「MPL」) の適用を受けるソフトウェアが含まれています。
 - 以下のオリジナルコードからの派生コード
js-1.5.tar.gz
 - 上記オリジナルコードの初期開発者
Netscape Communications Corporation
 お客様は MPL の条件に従い上記ソフトウェアのソースコードを入手する権利がございます。MPL の条件および上記ソフトウェアのソースコードの入手方法については、カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- なお、ソースコードの中身についてのご質問にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。
- また、上記以外のソフトウェアモジュールについては、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる  フリーコール および  フリーダイヤル は、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話：  **0120-944-111** 【一般電話】 **03-5496-8016** FAX： **03-3490-5718**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

カーナビゲーション「訪問宅電話番号検索機能」に関するご相談窓口

「訪問宅電話番号検索機能」に関する個人情報の削除等の受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9：30～12：00、13：00～17：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：  **0120-817-088**

カーナビゲーションの通信サービスやネットワーク接続（携帯電話、Bluetooth接続は除く）に関するご相談窓口

パイオニアモバイルネットワークス株式会社

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜 9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：  **0120-702-383** 【一般電話】 **03-3495-9963**



修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな？と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

電話：  **0120-5-81028** 【一般電話】 **03-5496-2023** FAX：  **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：【一般電話】 **098-879-1910** FAX： **098-879-1352**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜 9：30～12：00、13：00～18：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：  **0120-5-81095** 【一般電話】 **0538-43-1161** FAX：  **0120-5-81096**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2009

< KAMFX > < 09H00000 > < CRA4288-A/S >